



取扱説明書

製造・販売元

フジ電機工業株式会社

<http://www.fuji-denki.co.jp>

< 本社 > 〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880
< サービスセンター > 〒669-4132 兵庫県氷上郡春日町野村537
TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187

この度は、ブルグレアーEシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品の優れた数々の機能を十分に活用して頂く為に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず大切にお手元に保管して下さい。本説明書はEシリーズ全タイプ共通となっております。

目次

商品付属構成	1
商品付属構成表	2
安全上のご注意 必ずお読み下さい	3
使用上のご注意 必ずお読み下さい	4
全TYPE共通する標準センサー及び標準機能1	5
全TYPE共通する標準センサー及び標準機能2	6
全TYPE共通する標準センサー及び標準機能3	7
全TYPE共通する標準センサー及び標準機能4	8
TYPE 及びTYPE に共通する標準センサー及び標準機能	9
TYPE のみの標準センサー及び標準機能	10
オプション	11
各部名称及び取り付け概要(TYPE)	12
各部名称及び取り付け概要(TYPE)	13
各部名称及び取り付け概要(TYPE)	14
取り付け手順	15
配線方法1	16
配線方法2	17
ハイパースピーカー取り付け	18
標準LEDの取り付け	19
スーパーセンサー の取り付け	20
人体センサーの取り付け1(TYPE)	21
人体センサーの取り付け2(TYPE)	22
デジタル傾斜センサーの取り付け(TYPE)	23
ハザードフラッシュの取り付け(TYPE)	24
ホーン線の取り付け(TYPE)	25
グレアー本体の取り付け	26
リモコン使用時のご注意・IDコード登録	27
本体操作方法	28
スーパーセンサー 警告の感度調整方法1	29
スーパーセンサー 警告の感度調整方法2	30
スーパーセンサー 警報の感度調整方法1	31
スーパーセンサー 警報の感度調整方法2	32
スーパーセンサー 警報の音量調整方法1	33
スーパーセンサー 警報の音量調整方法2	34
スーパーセンサー 3トーンセレクト機能	35
スーパーセンサー 警報時間選択機能	36
スーパーセンサー センサーカット機能	37
電流センサー制御機能 / 電流センサーの感度調整方法	38
作動確認音制御機能 / LED制御機能	39
ミュート機能 / 警報履歴機能 / リセット機能	40
緊急警報機能(TYPE) / 外部ホーン出力制御機能(TYPE)	41
オプション入力制御機能(TYPE) / マルチ出力制御機能(TYPE)	42
リモコンエンジンスターター付き車の操作方法	43
ターボタイマー付き車の操作方法	44
強制解除 / リモコンの電池交換方法	45
リモコンIDコードの抹消・登録	46
操作早見表1	47
操作早見表2	48
操作早見表3	49
トラブルシューティング1	50
トラブルシューティング2	51
アフターサービスについて	52

商品仕様

TYPE 品番 BG-E25 税込価格 26,040円 (税抜価格 24,800円)

スーパーセンサー を標準搭載し操作性を向上させた低コストモデル！

セキュリティに有効的な基本センサーを標準搭載。又、機能面を充実させることでセキュリティ本来の操作性の向上を実現。さらにコスト面を抑えた安心と信頼のセキュリティ。

リモコン仕様

本体仕様 電源電圧 DC6V(CR1220×2)

電源電圧 DC12V 使用温度範囲 -25 ~ +65

消費電流(待機時) 約9mA(平均値)

消費電流(警報時) 約400mA(平均値)

使用温度範囲 -25 ~ +85

音圧レベル 120dB

TYPE 品番 BG-E35 税込価格 38,640円 (税抜価格 36,800円)

スーパーセンサー と人体センサーをベースに更にオプションの増設を可能にしたスタンダードモデル！

ブルグレア - に新たに採用した人体センサーは車内に侵入しようとする人の動きに反応する高性能センサーと車両に対するわずかな微震を鋭く感知するスーパーセンサーをダブルで標準搭載。又、オプションを増設することで更なるグレードアップが可能。

リモコン仕様

本体仕様 電源電圧 DC6V(CR1220×2)

電源電圧 DC12V 使用温度範囲 -25 ~ +65

消費電流(待機時) 約10mA(平均値)

消費電流(警報時) 約400mA(平均値) **人体センサー仕様**

使用温度範囲 -20 ~ +65

使用温度範囲 -25 ~ +85

音圧レベル 120dB

TYPE 品番 BG-E55 税込価格 62,790円 (税抜価格 59,800円)

3つの高性能センサーを標準搭載、拡張や機能をフルに活用できる最高級モデル！

ハイエンドモデルのタイプ は、ハイテクノロジーを駆使して開発を進めた3つの重要センサー「スーパーセンサー・人体センサー・デジタル傾斜センサー」を標準搭載。セキュリティに最も必要とされる安心と利便性を優れた数々の機能で完全サポート。さらにメインユニットに拡張ポートを設けることですべてのオプションにフル対応。

リモコン仕様

本体仕様 電源電圧 DC6V(CR1220×2)

電源電圧 DC12V 使用温度範囲 -25 ~ +65

消費電流(待機時) 約12mA(平均値)

消費電流(警報時) 約400mA(平均値) **人体センサー仕様**

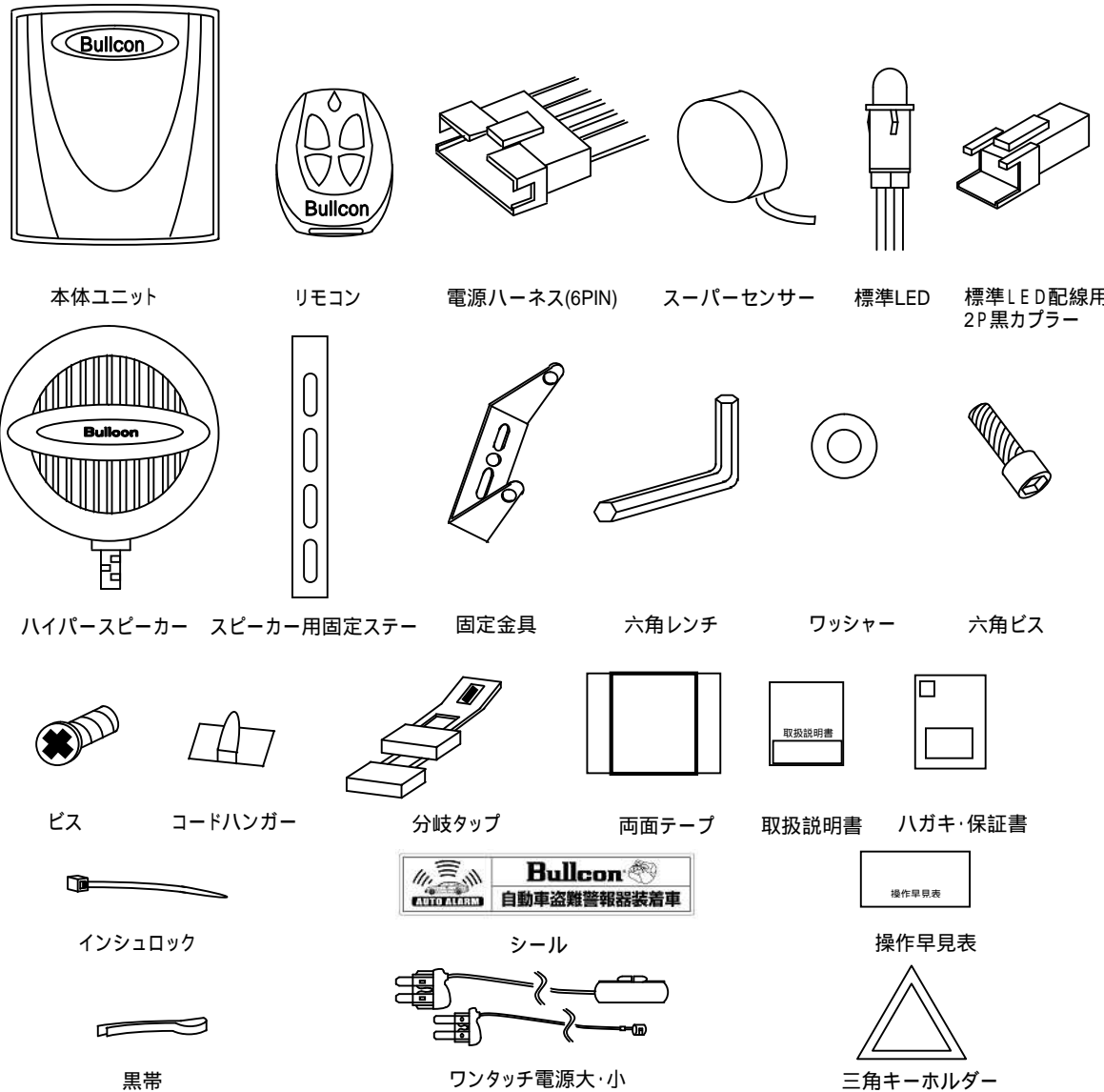
使用温度範囲 -20 ~ +65

使用温度範囲 -25 ~ +85

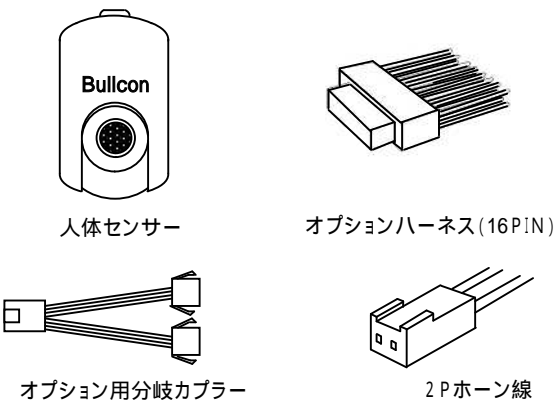
音圧レベル 120dB

商品付属構成

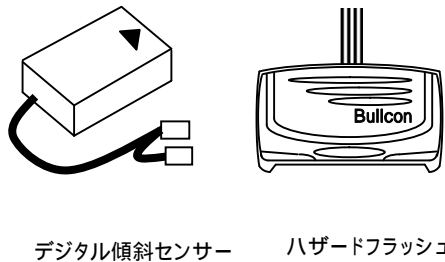
全TYPEに共通する付属品



TYPE Ⅰ に共通する付属品



TYPE Ⅱ の付属品




商品付属構成表


	TYPE Ⅰ		TYPE Ⅱ		TYPE Ⅲ	
	有無	個数	有無	個数	有無	個数
全TYPEに共通する付属品						
本体ユニット		1		1		1
リモコン		1		2		2
電源ハーネス		1		1		1
スーパーセンサー		1		1		1
標準LED		1		1		1
標準LED配線用2P黒カブラ		1		1		1
ハイパースピーカー		1		1		1
スピーカー用固定ステー		1		1		1
固定金具		1		1		1
六角レンチ		1		1		1
ワッシャー		3		3		3
六角ビス		2		2		2
ビス		1		1		1
コードハンガー		3		3		3
分岐タップ		3		3		3
両面テープ		1		2		4
取扱説明書		1		1		1
ハガキ・保証書		1		1		1
インシュロック		1		1		1
黒帯		2		2		2
シール		1		1		1
ワンタッチ電源大・小		1		1		1
操作早見表		1		1		1
三角キーホルダー		1		2		2
TYPE Ⅰ に共通する付属品						
人体センサー	×	0		1		1
オプション用分岐カブラ	×	0		1		1
オプションハーネス	×	0		1		1
2Pホーン線	×	0		1		1
TYPE Ⅱ の付属品						
デジタル傾斜センサー	×	0	×	0		1
ハザードフラッシュ	×	0	×	0		1

安全上のご注意


ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
この取扱説明書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他人の方々への危害
や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。また、注意事
項は危害や損害の大きさと切迫の程度を警告・注意の2つに区分しています。いずれも
安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。その表示の内容は次のように
なっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 警 告	指定以外の電圧では使用しないで下さい。この機器はDC12V・マイナスアース車専用です。火災・感電・故障の原因となります。
	電源コードを傷つけないで下さい。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工など加えないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
	本機を取り付ける際、電源の極性(+ ・ -)を間違えないよう注意して下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	本機を取り付ける際、電源側(+ 12V)のコードが車体の金属部分に触れないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
	分解したり、改造したりしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
	本機に水が入らないようにして下さい。万が一、水が入った場合は、電源を抜いてから取り扱い店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	煙が出る、変な臭いや音がある場合、機器の使用を中止し直ちに電源を抜いて安全を確かめてから修理をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	車内に生物(人間・ペット等)がいる状態で本機を使用しないで下さい。聴覚障害を起こす恐れがあります。
	使用済みボタン電池を火中に投げ入れる行為及び、充電はしないで下さい。爆発の恐れがあり、火災・けがの原因となります。
	本機を取り付け、配線、使用方法を間違うと車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがあり、火災・感電・故障の原因となります。

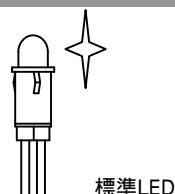
 注 意	本機を取り付けの際には、他機器に影響を与えない場所及び、運転に差し支えない場所に設置して下さい。
	本機を取り付けの際には、各部品は確実に固定して下さい。固定が不十分ですと本機が正常に作動しない又は、故障の原因となります。
	本機のコネクターの抜き差しは、必ずコネクターを持って行って下さい。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・故障の原因となります。
	車両のバッテリーが弱っている状態及び、車両本体の機能に不備がある場合には、本機を使用しないで下さい。本機が正常に作動しない又は、車両機器に影響を与える恐れがあります。
	過度の熱や水などが本機に影響を与えそうな場所への設置はしないで下さい。故障の原因となります。

使用上のご注意

 注 意	本機は電波を使用していますので、周囲の環境等により電波の届く距離が短くなる場合があります。
	本機は超高感度センサーを使用しています。感度を上げ過ぎますと誤報の原因になりますのでご注意ください。又、センサーの設置場所等により感知状況が異なります。必ずテストして下さい。
	リモコンの電池が消耗しますと電波の届く距離が短くなりますので、電池を新品に交換して下さい。ボタン電池(品番: C R 1220)が2個必要になります。
	リモコンの電池寿命は約6ヶ月間ですが、使用状況によって短くなる場合があります。又、付属のボタン電池は動作チェック用の為、寿命が短いことがありますのでご了承下さい。
	リモコンは長時間直射日光の当たる場所に放置しないで下さい。又、落としたり水に濡れないように十分ご注意ください。
	本機を作動させたまま、長時間(2週間以上)放置しないで下さい。バッテリー上がり等の原因になります。
	特に激しい雷雨、豪雨、地震等誤報する恐れがあります。
	本機を作動させたまま車両を走行させないで下さい。事故の原因となります。
	外車等、車種により本機を取り付けが不可能な場合があります。
	オプションパーツをご使用の場合、各製品に付属しています取扱説明書を必ずよくお読みになして下さい。
	純正リモコンドアロック付き車に本機を取り付ける場合、純正リモコンのロック・アンロック時の電波到達距離が若干短くなる場合がありますのでご了承下さい。
	誤った取り付け方や使用方法による事故等に関しましては、当社では責任を一切負いません。
	本機は高性能な自動車盗難予防警報器です。盗難防止器ではありません。万が一、発生した盗難事故やいたずら等による損害等、当社は一切責任を負いません。又、故障、誤作動などにより本機が使用できなかったことによる付随的損害等の保証についても当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承下さい。
	取り付け及び、テスト・使用方法等で車両又は、ボディ等に穴を開けられた場合やへこみが生じた場合の修復に関しましては当社は責任を一切負いません。
	本機は国産車のみサポートしており、外車へのサポートは一切行ってませんのでご了承下さい。
	違法改造車及び、整備不良車等への本機取り付けは一切サポートを行っておりません。

全TYPE共通する標準センサー及び標準機能1

LED (視覚的防御用)



セキュリティ作動時にLEDを点滅させることで犯罪を心理的に予防します。

スーパーセンサー



超高感度振動センサーにより、風等の揺れではなく車への衝撃だけに反応します。

電流センサー



万が一、ドアが開けられた場合に瞬時に警報します。通常は電流センサーで感知しますが、一部車両で電流センサーが使用できない場合はドアスイッチの配線(任意配線)が必要となります。

ダブルアクションシステム

弱衝撃 警告

強衝撃 警報

スーパーセンサーは車体への衝撃をCPUにて判別しますので、その度合いに応じて警告、警報の区別ができます。

オートチェンジボリューム機能



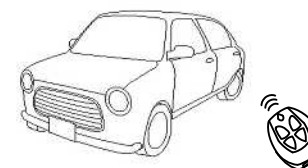
ドアが開かれた場合、自動的に最大音に切り替わり警報します。

ERS機能

エンジン作動中にブルグレアーをスタンバイさせた場合、ドアが開かれた時のみ警報します。ドアスイッチの配線が必要となり、一部車両で使用出来ない場合があります。

全TYPE共通する標準センサー及び標準機能2

IDセキュリティ機能



当社独自の方式によりリモコンのIDコードの盗難を防ぎます。

01001010	10110001
10011001	00101110
01110110

誤作動回避回路



高性能CPUの採用により風等の揺れを自動判別し、誤作動を大幅に軽減できます。

エンジンスターター及び、ターボタイマー装着車対応

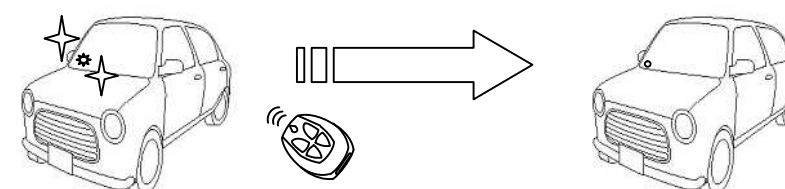
エンジン始動中又は、停止であるかを自動認識します。一部車両で使用できない場合があります。

マイナス出力線

マイナス制御で作動する製品が付属のリモコンに連動して使用できるようになります。

LED制御機能

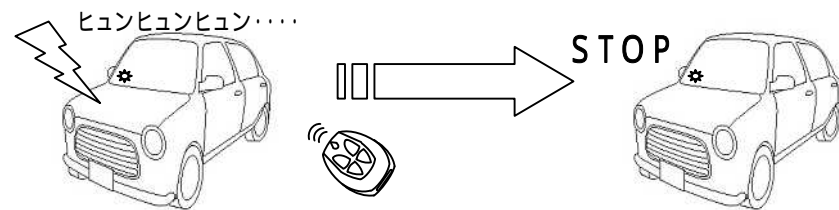
ブルグレアー待機中、標準LEDを任意で消灯することができます。



全TYPE共通する標準センサー及び標準機能3

ミュート機能

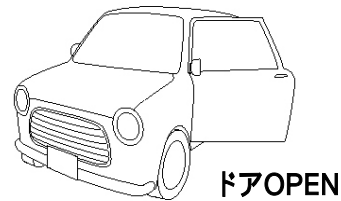
警報音を強制的に止めることができます。



電流センサー制御機能

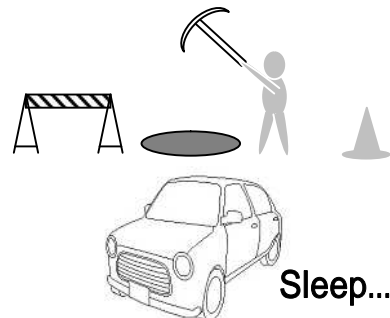
電流センサーOFF時
警報しない

電流センサーの使用できない車両ではその機能を停止することができます。(左図はドアスイッチの配線を行っていません。)



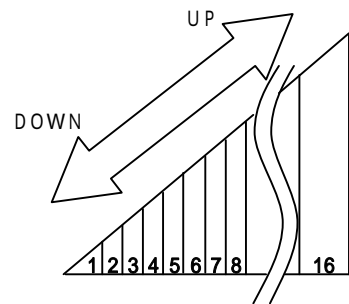
センサーカット機能

スーパーセンサー のみを感知しないようにできます。



警報音量調整機能

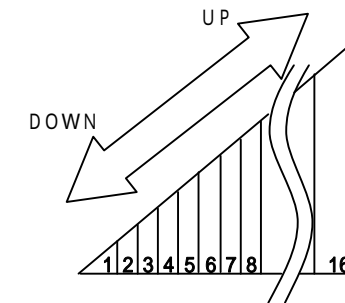
スーパーセンサー の警報音量を16段階でボリューム調整できます。



全TYPE共通する標準センサー及び標準機能4

警報感度デュアル調整機能

スーパーセンサー の警告及び、警報感度を16段階でボリューム調整できます。



警報履歴機能

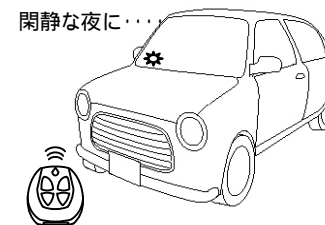


ブルグレアーの作動中に発した警報の履歴を標準LEDの点滅回数で確認できます。

作動確認音制御機能

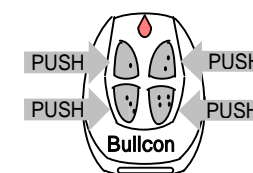
閑静な夜に...

ブルグレアーの作動確認音のみ消すことができます。



リセット機能

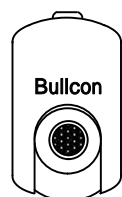
初期設定状態



ワンタッチ操作で各制御機能を出荷時の初期設定の状態に戻せます。

TYPE 及びTYPE に共通する標準センサー 及び標準機能

人体センサー



車内に警戒網を張り巡らし外部からの侵入や物色を防ぎます。

3トーンセレクト機能

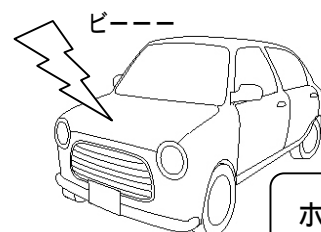
A音

B音

C音

スーパーセンサー の警報音を3パターンの音色から任意に選択できます。

外部ホーン出力制御機能

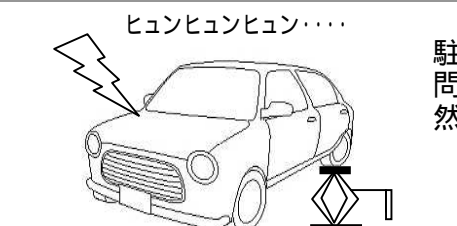


外部ホーン出力線にホーンを接続した場合、ホーンを鳴らすか鳴らさないかの選択ができます。

ホーンから警報

TYPE のみの標準センサー及び標準機能

デジタル傾斜センサー



駐車時の車両角度を自動認識するので傾斜場所を問わずジャッキアップやレッカー等による盗難を未然に防ぎます。

ハザードフラッシュ

ブルグレアのON・OFF時及び、警報時にハザードランプを点滅させることができます。

緊急警報機能



遠隔操作で離れた場所から強制的に警報を鳴らすことができます。(車両から5～8m程の距離)

警報時間選択機能

5秒

10秒

30秒

スーパーセンサー の警報時間を3パターン(5秒・10秒・30秒)から任意に設定や変更ができます。

オプション入力制御機能

オプション入力線に接続した外部機器をリモコンの操作で制御することができます。
(当社製品に限り取り付け可能です。)

マルチ出力制御機能

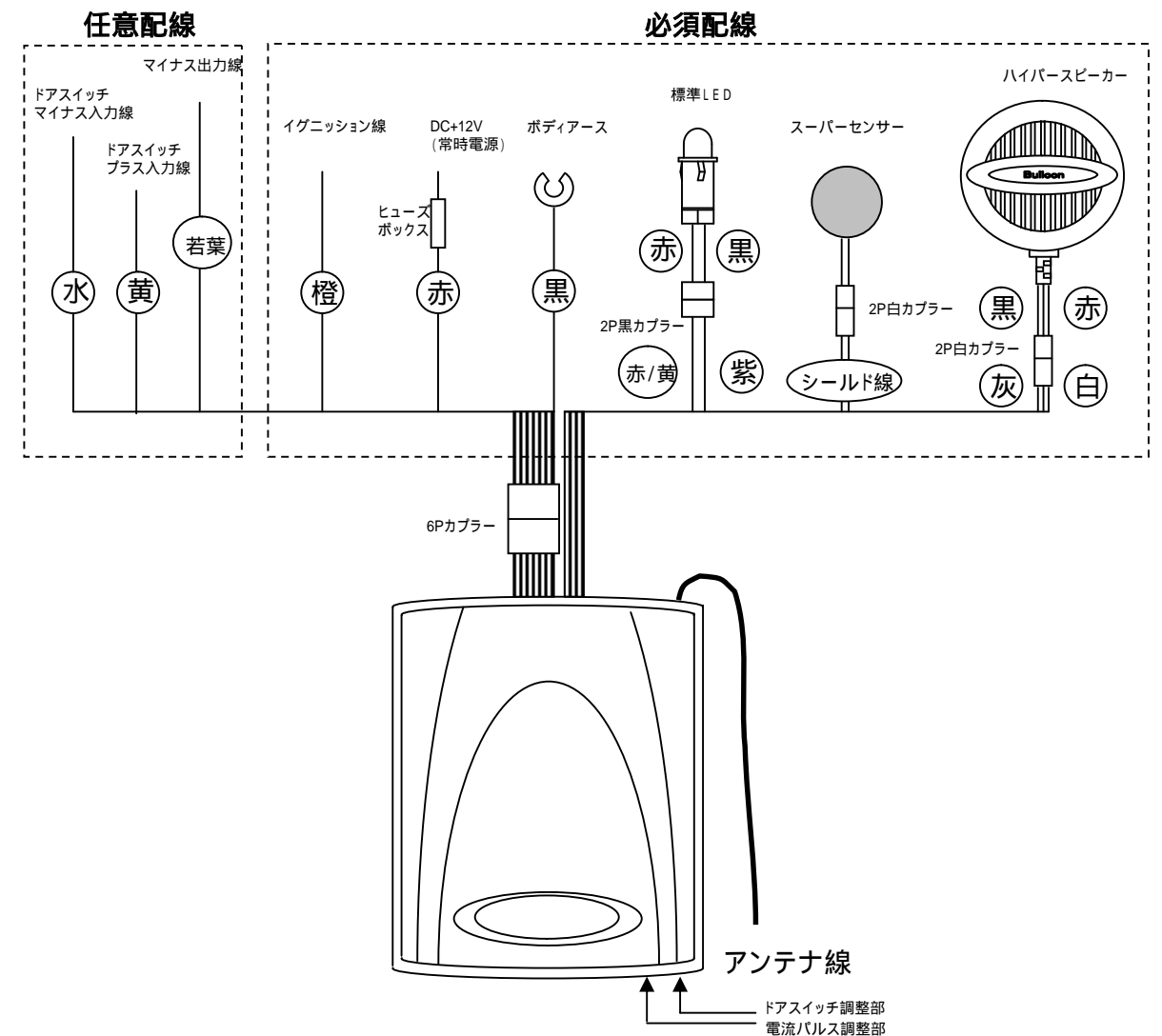
マルチ出力線に接続した外部機器をリモコンの操作で制御することができます。
(当社製品に限り取り付け可能です。)

オプション

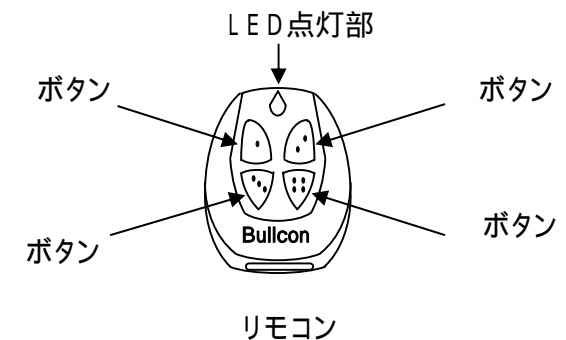
(GE-98R)追加リモコン…リモコンを増設したい方に Eシリーズ専用の追加リモコンです。最大3個まで追加可能です。(標準リモコンは含みません。)	9800円
(SN-98)人体センサー…人体センサー増設で感知範囲を広げる 大型車等で車内の警戒範囲をより広くします。	9800円
(SD-180)デジタル傾斜センサー …タイヤ・ホイールの盗難、レッカー等による車輛盗難対策 駐車時、車両角度を自動認識するので、駐車場所を問わずジャッキアップやレッカー等による盗難を未然に防ぎます。	18000円
(SS-30)スーパーセンサー …車体への衝撃の感度を更にアップ 車体への衝撃の範囲を更に広げます。	3000円
(SC-42)スターターカットリレー…車両乗り逃げ予防 エンジンの始動をできなくすることで、乗り逃げによる車両盗難を予防します。 当社独自の方法により、エンジンスターター・ターボタイマー付き車にも対応しています。	4200円
(SK-98)キーセンサー…カギ破損の予防 ドアのキーシリンダーにダイレクトに装着することで、特にカギ穴周辺に鋭く反応し被害を未然に防ぎます。	9800円
(SS-98)サウンドセンサー…ガラス破損の予防 ガラスの破壊等、車体に衝撃を与えて発生する特定な周波数帯の音域に鋭く反応して警報します。	9800円
(AH-48)ハザードフラッシュ…ハザードランプによる作動確認 本体のON・OFF時及び、警報時にハザードランプを点滅させることができます。	4800円
(SP-28)パーツセンサー…外装品等の盗難予防 センサー信号線が切断されたり外された場合に警報します。	2800円
(AL-62)ドアロックユニット…ドアのロック・アンロックを連動 本体のON・OFF時にロック・アンロックを連動させることができます。又、ロック・アンロックのみの使用も可能です。	6200円
(AM-59)ドアロックモーター ドアロックユニット取り付け時、車両側にドアロックモーターが装着されていない場合に使用します。	5980円
(AD-18)ダイオード分岐ユニット…電流の逆流を防止 ドアスイッチ線が独立している場合、同時点灯や電流の回り込みを防ぐ為に必要となります。	1800円
(AF-98R)フラッシュLED(赤) / (AF-98B)フラッシュLED(青) …より効果的に視覚的防御 LEDが色鮮やかな点滅で華麗に威嚇します。(16パターン)	各9800円
(ST-110)トランクセンサー…トランク・カギ破損の予防 トランクのキーシリンダーにダイレクトに装着することで、特にカギ穴周辺に鋭く反応し被害を未然に防ぎます。	11000円
(SC-60)センサー調整ユニット …スーパーセンサー の感度を更に微調整できる スーパーセンサーの基本感度を更に微調整するユニットです。スーパーセンサー と併用することで性能が向上します。	6000円
(AM-82)オートドアミラーコントローラー …ブルグレアーのリモコンでドアミラーを自動開閉 ブルグレアーのリモコンのON・OFFに連動しドアミラーを自動開閉させることができます。	8200円

TYPE のオプションは追加リモコン、フラッシュLED、スーパーセンサー、センサー調整ユニットの4種類だけとなっておりますので、お買い求めの際はご注意ください。

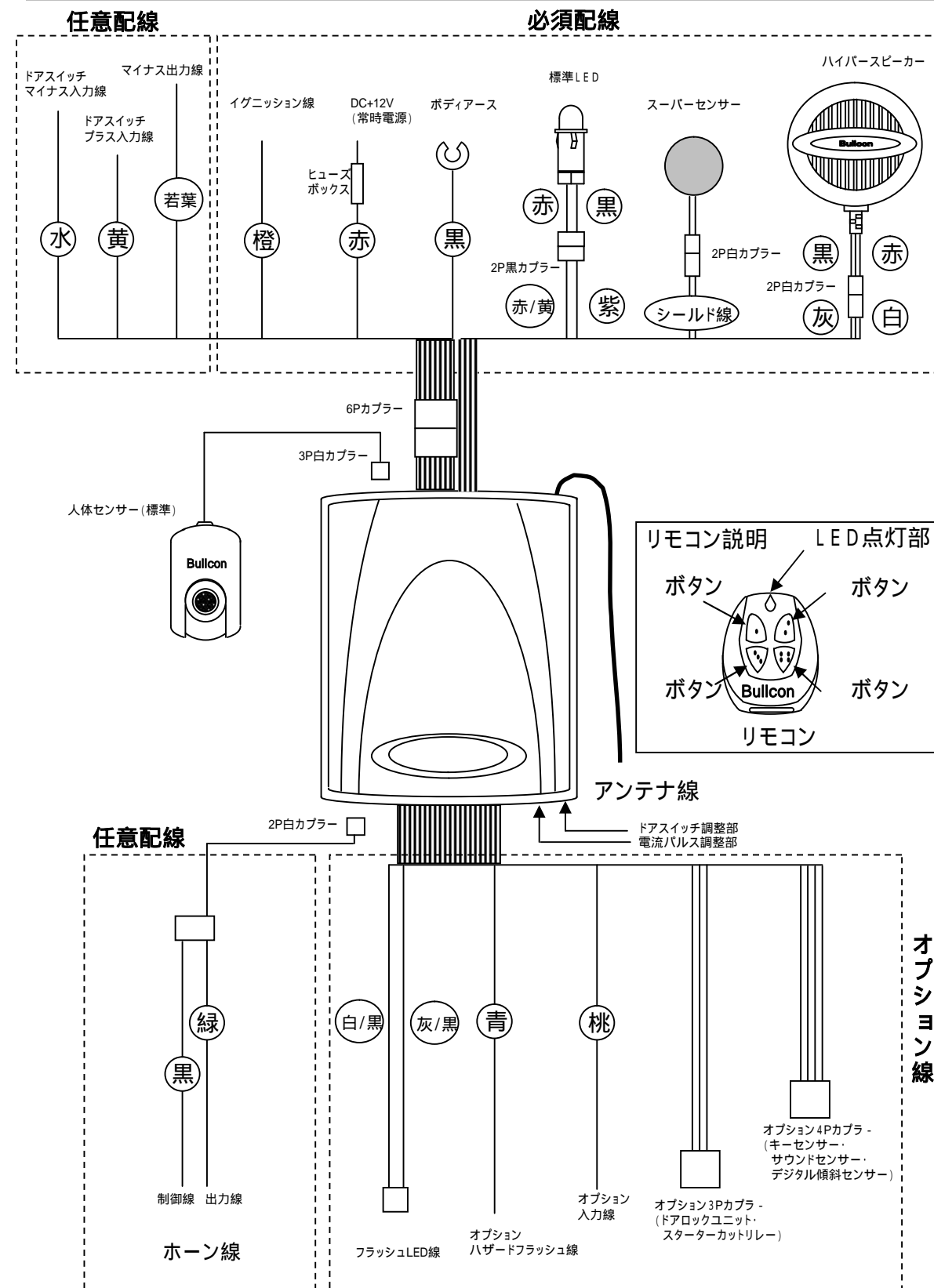
各部名称及び取り付け概要(TYPE)



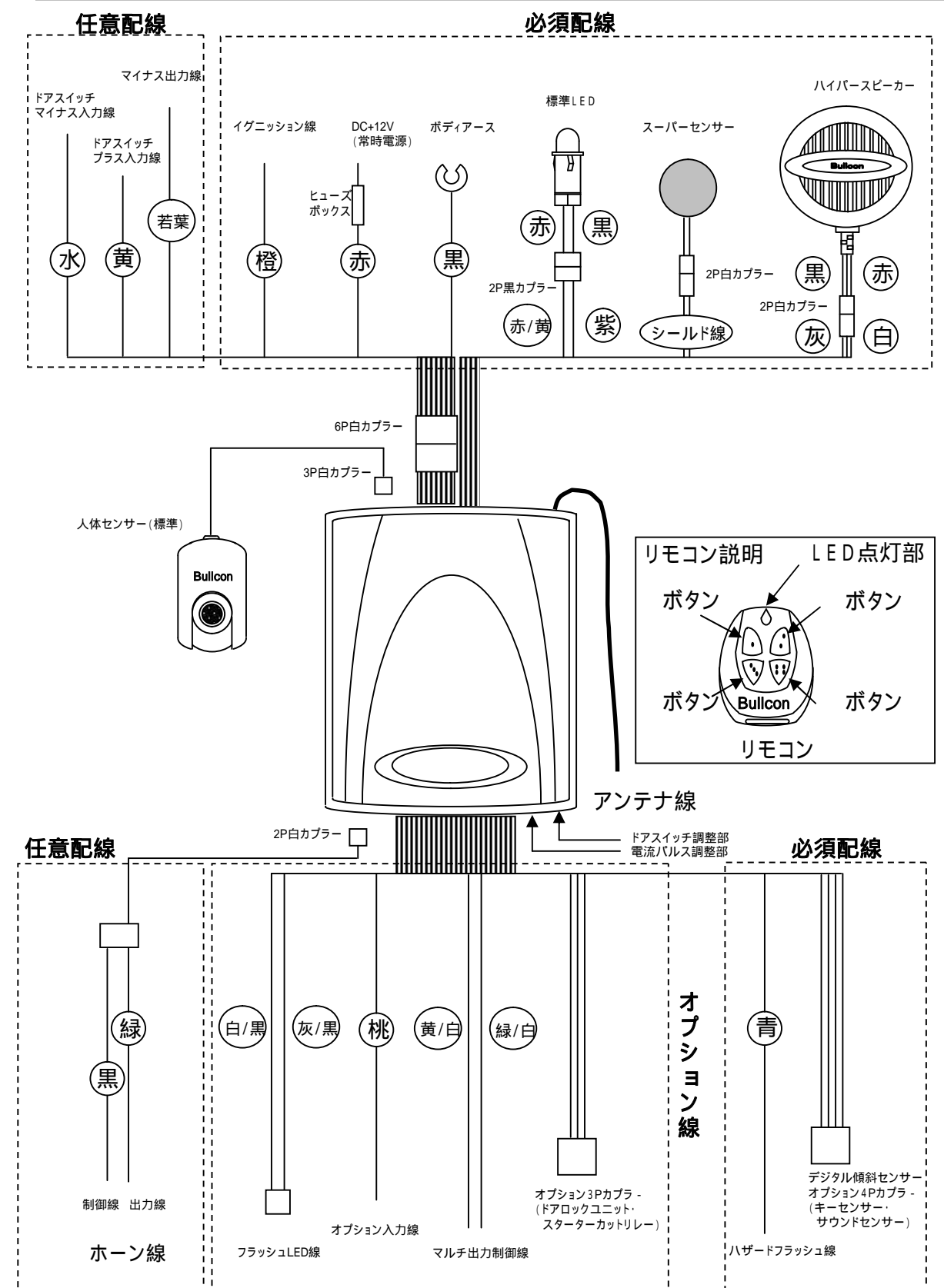
リモコン説明



各部名称及び取り付け概要(TYPE)



各部名称及び取り付け概要(TYPE)



取り付け手順

黒色線接続 (ボディアース) / 赤色線接続 (常時電源) / 橙色線接続 (イグニッション線)
P16 参 照

ドアスイッチ配線をしますか？

YES

NO

水色線・黄色線接続 (ドアスイッチ線)

P17 参 照

ハイクラススピーカーの取り付け

P18 参 照

標準LEDの取り付け

P19 参 照

各種センサーの取り付け

TYPE

P20 参 照

TYPE

P20 ~ P22 参 照

TYPE

P20 ~ P24 参 照

ホーン配線をしますか？

YES

NO

ホーン線の取り付け

P25 参 照

本体の取り付け

P26 参 照

リモコンIDコード登録

P27 参 照

以上で取り付け終了です。P28より各機能の操作説明になります。
最後までお読みの上、ご使用下さい。

配線方法1

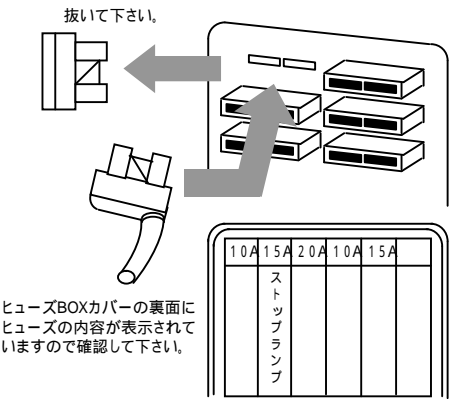
黒色線(クワガタ)・・・ボディアース

塗装されていない金属部分のボルトに接続して下さい。

赤色線・・・常時電源(+12V)

エンジンキーがどの位置でも+12V出力されている線に接続して下さい。

例)ヒューズBOXから電源を取る場合



ヒューズBOXのカバーを外し、カバーの裏面に表示されているヒューズの内容を確認して下さい。
ストップランプヒューズ等、エンジンキーがどの位置でも+12Vが出力されているヒューズを検電器又は、サーキットテスターで探し出し付属のワンタッチ電源と差し替えます。

ポイント 常時電源ヒューズ・・・ストップランプ・ドアロック・ハザード・ルームランプ等があります。



注意

付属のワンタッチ電源は15Aヒューズです。アンペアが異なる場合はアンペアが合ったものを使用して下さい。別売/ワンタッチ電源・・・定価¥480

ヒューズを抜いた際、ラジオ、オーディオ等のメモリーが消去される恐れがありますので、メモリーの確認をしていただき、消去された場合は再度登録を行って下さい。

抜き取ったヒューズは大切に保管して下さい。

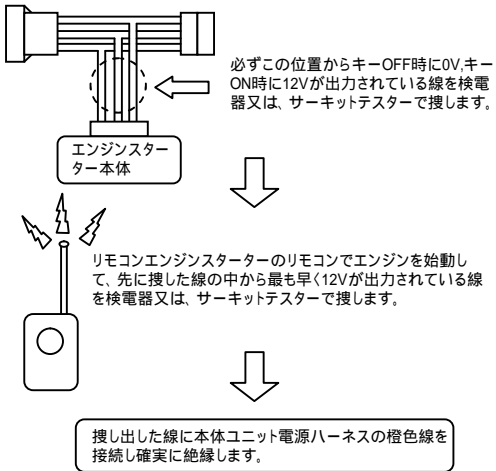
オプション等の常時電源は必ず別の場所に接続して下さい。

ワンタッチ電源に差し替える際は、線のある方を一時側になるように接続して下さい。

橙色線・・・イグニッション線

エンジンキーがONの位置の場合のみ+12Vが出力されている線に接続して下さい。

例)リモコンエンジンスターター付き車の場合



必ずこの位置からキーOFF時に0V、キーON時に12Vが出力されている線を検電器又は、サーキットテスターで探します。

リモコンエンジンスターターのリモコンでエンジンを始動して、先に探した線の中から最も早く12Vが出力されている線を検電器又は、サーキットテスターで探します。

探し出した線に本体ユニット電源ハーネスの橙色線を接続し確実に絶縁して下さい。

リモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネスを捜し、リモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネス内の線から検電器又は、サーキットテスターを使用し、リモコンエンジンスターターのリモコンでエンジンを始動した時に12V出力されている線を探します。

で探した線に本体ユニット電源ハーネスの橙色線を接続し、確実に絶縁して下さい。



注意

必ずリモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネス内の線に橙色線を接続して下さい。

リモコンエンジンスターター側の特性により対応できない場合があります。

エンジン始動を検出する配線の為、最も優先的に電流の流れる線に接続して下さい。

配線方法2

エンジン停止後、電流が変化する車(エアサス車等)は、本体ユニットの電流センサーの感度調整ボリュームを左いっぱいに戻す、あるいはリモコンにて電流センサー制御機能をOFFにした後、必ずこの配線を行って下さい。ただし、車種によって配線の位置が異なる為、予めご了承

水色 / 黄色線・・・・・・ドアスイッチ線 (任意配線)

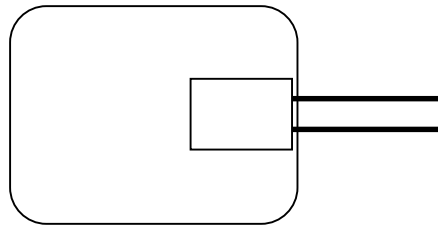
水色線 (マイナスコントロール制御車)・・・ドアを開けた状態で0～5V、閉めた状態で12V出力する線に接続して下さい。

黄色線 (プラスコントロール制御車)・・・・・・ドアを開けた状態で12V、閉めた状態で0～5V出力する線に接続して下さい。

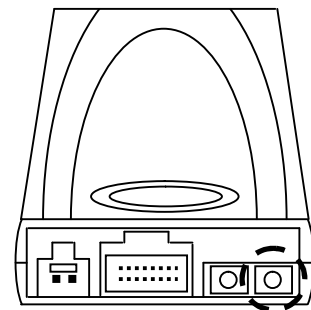
注) どちらか一本の接続になります。国産車のほとんどはマイナスコントロール制御車です。

(例) ルームランプから配線する場合

ルームランプ本体裏側



ドアを開けた状態で0～5V(又は12V)、閉めた状態で12V(又は0～5V)出力する線を検電器又は、サーキットテスターで捜して水色線(又は黄色線)を接続して下さい。



ルームランプを外します。

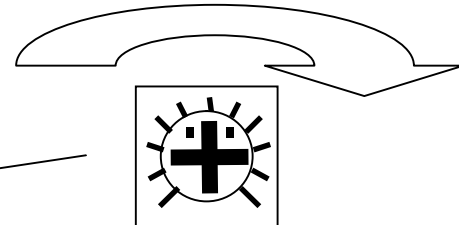
裏側にあるカプラーよりサーキットテスターを使用し、ドア開閉時にテスターの針が振れる線を探し出し、本体ユニット電源ハーネスから出ている水色線又は、黄色線を接続します。ドアを開けた状態で0～5V、ドアを閉めた状態で12Vが出力されている場合、水色線を接続して確実に絶縁して下さい。又、ドアを開けた状態で12V、ドアを閉めた状態で0～5Vが出力されている場合、黄色線を接続して確実に絶縁して下さい。外したルームランプを元通りに戻します。



注意

車両によってはドアスイッチが独立になっている場合があります。この場合、同時点灯や電流の回り込みを防ぐ為オプションのダイオード分岐ユニット(AD-18)が必要となります。

ドアを開けた状態でドアスイッチ線に電圧が残る場合、本体右側のボリュームを右に少しずつ回して下さい。

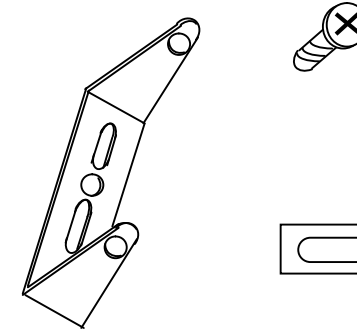


注意

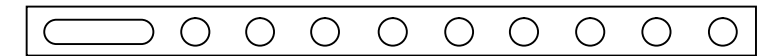
ドアを開けても警報しない又は、ドアスイッチ線が2本以上ある場合、本体右側のボリュームを右に回して下さい。(出荷時は左いっぱいになっています。)

ドアスイッチ線を配線することで本体ON時以降、ドアが開けられた場合は約60秒間の警報が鳴ります。又、ホーン線を接続することによりホーンにて警報します。

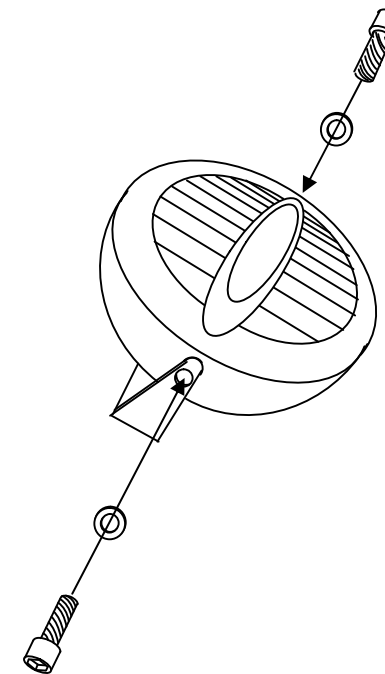
ハイパースピーカー取り付け



ボンネットを開け、ハイパースピーカーの取り付け位置を確認します。外部に音が伝わりやすい場所がお勧めです。付属の固定金具をエンジンルーム内設置済みのボルト又付属のボルトを使用して確実に固定して下さい。付属のボルトを使用する場合、エンジンルーム内の捨て穴等を利用して下さい。又、固定金具のみで取り付けが困難な場合は付属のステーを使用して下さい。



固定用ステー



ハイパースピーカーを固定金具に六角ビスで確実に固定して下さい。ハイパースピーカーから出ている2芯線(赤/黒線)を本体ユニット電源ハーネスの乳白色2Pカプラーに接続します。



注意

ハイパースピーカー本体は簡易防水になっていますがなるべく水や熱の影響を受けない場所を選んで下さい。

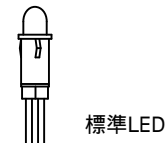
固定が不十分な場合、車両や機器に破損等トラブルの原因となる恐れがありますのでご注意ください。

ハイパースピーカーの配線はエンジン等に巻き込まないように配線して下さい。

標準LEDの取り付け

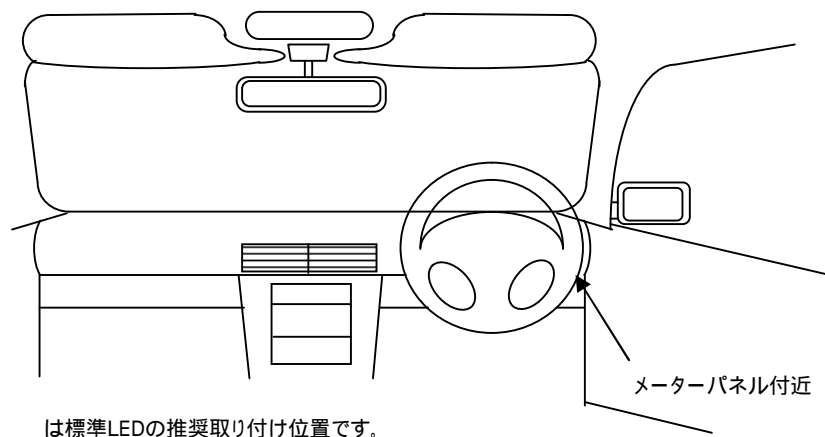
セキュリティ作動時にLEDを点滅させる事で犯罪を心理的に予防します。

標準LED設置の準備・取り付け



標準LED

取り付け参考例



は標準LEDの推奨取り付け位置です。

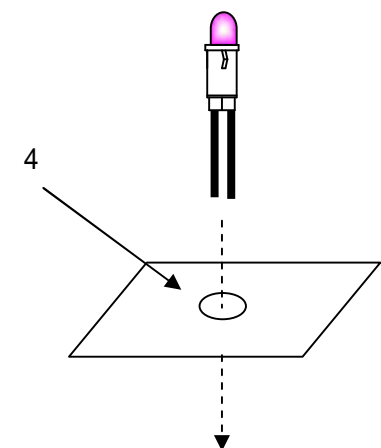
目くらばた等に穴を開け、標準LEDの固定場所を決めます。視覚的防御の効果がありますので、車外から見える位置がお勧めです。配線を運転等に支障が無く他機器に影響しないように配線します。



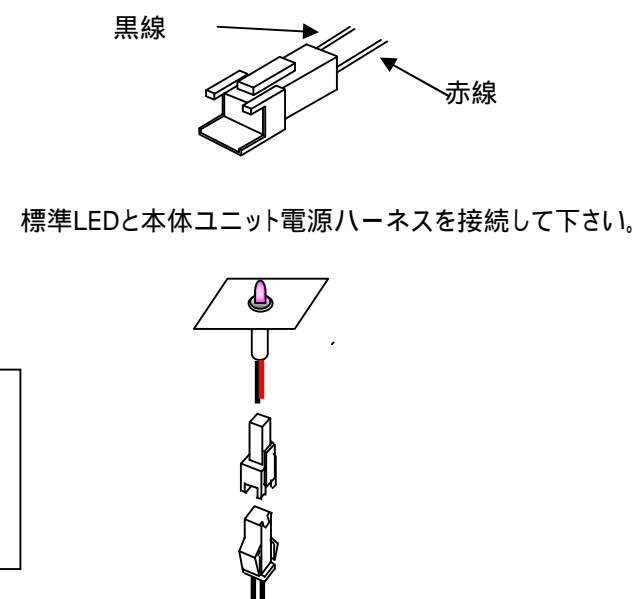
標準LEDの穴開けによる修復はいかなる場合でも当社は一切の責任を負いません。

標準LED配線方法

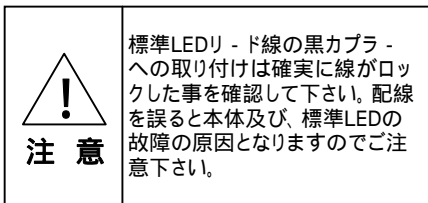
下図のように取り付け穴から標準LEDを通します。



標準LEDを通した後、付属の黒カブラーに標準LEDからのリード線を取り付けします。黒カブラーの1番に赤線を2番に黒線を接続して下さい。本体ユニット電源ハーネスからの赤/黄線には標準LED側の赤線に対応、紫線には標準LEDからの黒線に対応させて下さい。



標準LEDと本体ユニット電源ハーネスを接続して下さい。



標準LEDリード線の黒カブラーへの取り付けは確実に線がロックした事を確認して下さい。配線を誤ると本体及び、標準LEDの故障の原因となりますのでご注意ください。

スーパーセンサー の取り付け

(TYPE 、 、)

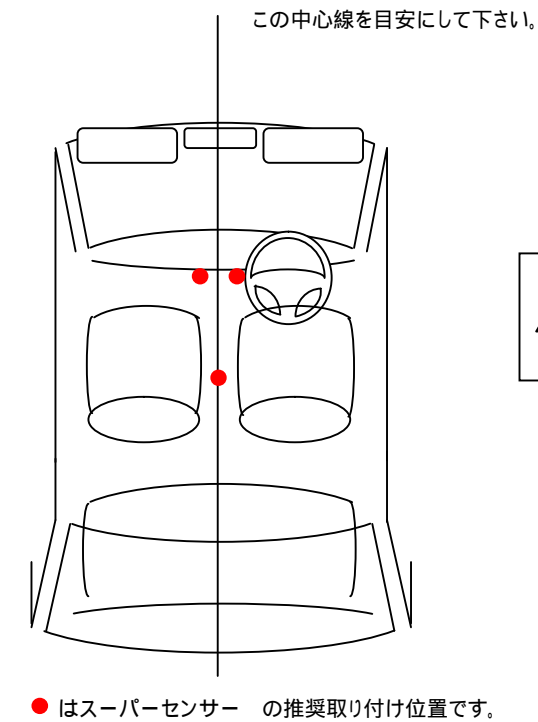
超高感度振動センサーにより、風等の揺れではなく車への衝撃だけに反応します。

スーパーセンサー 取り扱い上の注意

精密部品ですので直接衝撃を与えないで下さい。破損する恐れがあります。スーパーセンサー を取り付けするまで保護カバーを付けたまま取り付けを行って下さい。



スーパーセンサー を落下させたり必要以上の衝撃を与えるとスーパーセンサー が破損し反応しなくなる恐れがありますのでご注意ください。

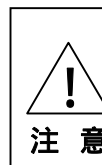
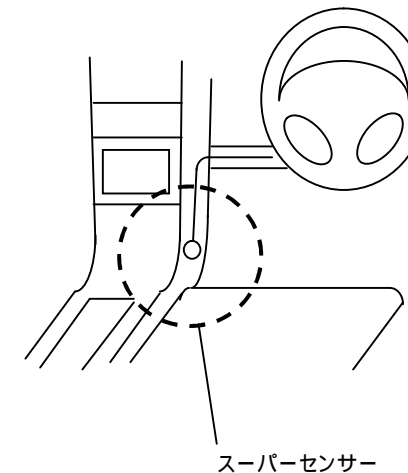


● はスーパーセンサー の推奨取り付け位置です。

スーパーセンサー 取り付け

左図を参考にしてスーパーセンサー の固定場所を決めます。取り付け面が乾燥していることを確認してしっかりと固定して下さい。取り付ける位置又は、車両の種類により感度が左右することあります。スーパーセンサー の2Pカブラーを本体ユニット電源ハーネスの2Pカブラーに接続します。

例：オーディオ付近裏側



スーパーセンサー の固定が不十分だと誤作動する恐れがあります。スーパーセンサー に配線が接触しないよう注意して下さい。スーパーセンサー はなるべく車両中心部に取り付けして頂くことを推奨しております。

本体ON時以降、スーパーセンサー で異常を感知した場合、警告時は約1秒間、警報時は約10秒間鳴ります。ただしTYPE のみ警報時間を5秒・10秒・30秒の中から選ぶことができます。(P36警報時間選択機能参照)

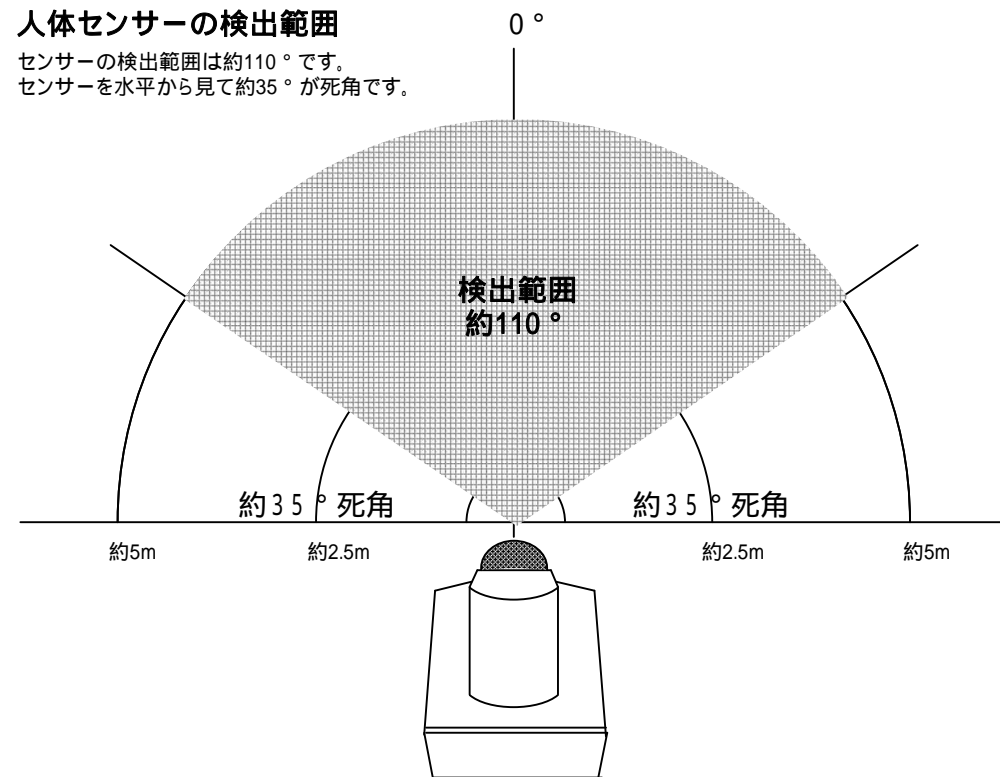
人体センサーの取り付け1

(TYPE ,)

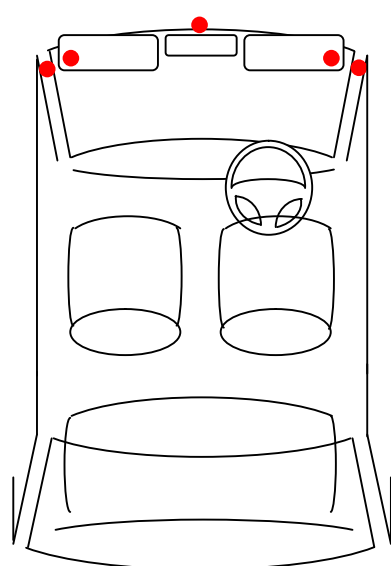
車内に警戒網を張り巡らし外部からの侵入や物色を防ぎます。

人体センサーの検出範囲

センサーの検出範囲は約110°です。
センサーを水平から見て約35°が死角です。



人体センサーの取り付け



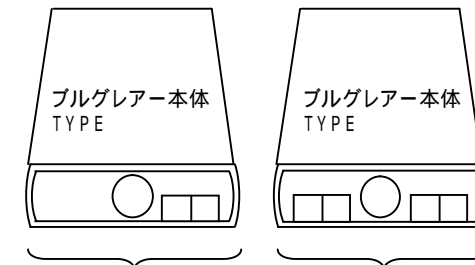
● は人体センサーの推奨取り付け位置です。

人体センサーの固定場所を決め付属の両面テープで固定します。
人体センサーには有効範囲があるため、より広い範囲を検出できる
ような位置に取り付けすることがお勧めです。
配線を他機器や運転等に差し支えないように処理します。

警告	人体センサーをダッシュボード上には絶対に設置しないで下さい。エアバック作動時に大変危険です。
	直射日光の当たる場所での設置は、人体センサーの機能が破損する恐れがありますのでご注意下さい。
	窓ガラスやサンルーフ等は必ず閉めてから本体をONして下さい。
!	人体センサーのレンズに汚れが付着しますと検出性能が劣化しますのでご注意下さい。
注意	人体センサーは非常に精密なセンサーですので荷重や衝撃が加わりますと変形や損傷による動作不良、性能の劣化になりますのでご注意下さい。
	人体センサーを作動させる場合、必ず車内には人や小動物がいないことを確認して下さい。

人体センサーの取り付け2

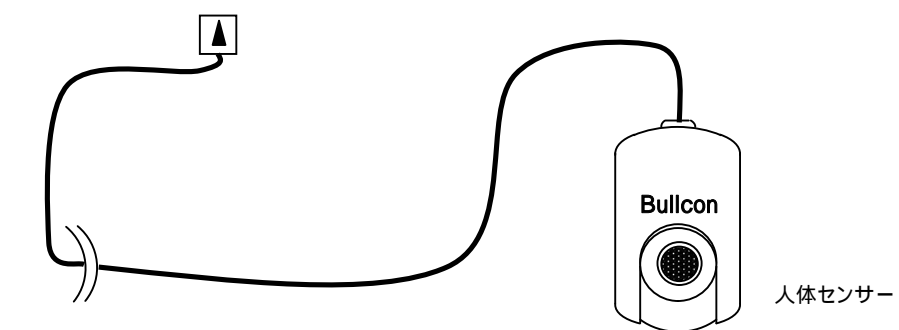
(TYPE ,)



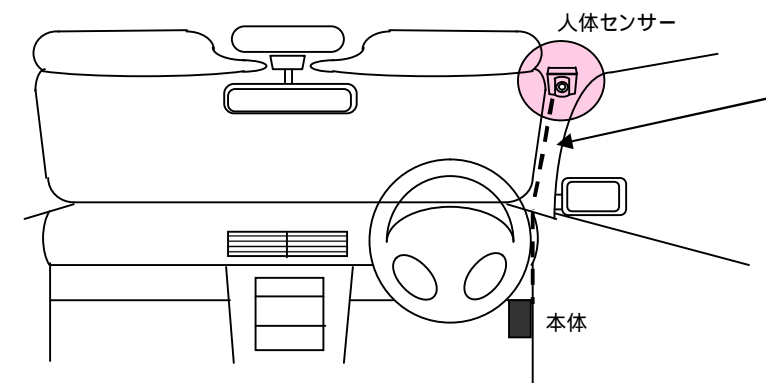
2つの入力 of いずれかに接続して下さい。

4つの入力 of いずれかに接続して下さい。

人体センサーの3Pケーブルをブルグレアー本体の3Pケーブルのいずれかに差し込んで下さい。TYPE は合計2個まで、TYPE は合計4個まで増設が可能です。1BOX車等車内空間の広い車両にはオプションの人体センサー (SN-98) の追加を推奨しております。

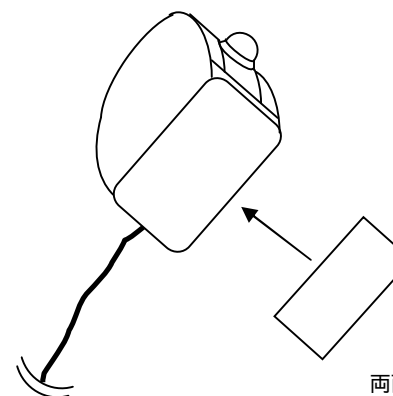
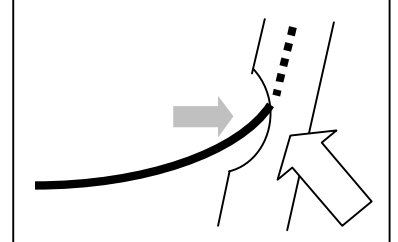


例) ピラーに取り付けする場合



内張りへの収納

ピラーの内張りを外し、その中にコードを収納します。内張りが硬い場合は市販の専用工具等を使用して下さい。



人体センサーの取り付け位置を決め配線を内張り内に収納、又は、コードハンガーにて運転等に支障のないように処理します。
上図はピラー取り付けとしての一例ですが、いずれの取付場所においても配線の処理は同様に必ず行って下さい。
内張りがない場合はコードハンガーを使用して下さい。
人体センサーの固定には付属の両面テープをご使用になることをお勧めします。

本体ON時以降、人体センサーが感知しましたら約10秒間警報します。

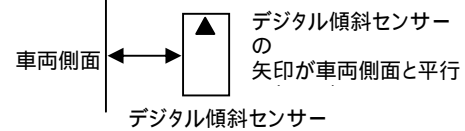
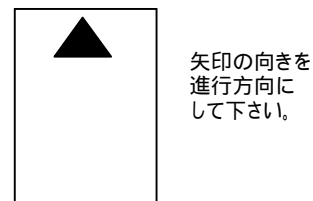
(TYPE)

この矢印の関係
がなるべく平行
であること

デジタル傾斜センサー


設置面

左図を参考にしてデジタル傾斜センサーの固定場所を決めま
デジタル傾斜センサーは車両中心付近で、設置面が地面に対
してなるべく平行な面を選んで下さい。
センターコンソール付近がお勧めです。
デジタル傾斜センサーの両面テープをはがして固定します。
この時、デジタル傾斜センサーの縦・横方向と車両本体
の縦・横方向を必ず一致させて下さい。
取り付けする位置又は、車両の種類により感知した感度に若干の
誤差が生じる場合があります。
デジタル傾斜センサーから出ている白色4Pケーブルをオプション
ハーネスの4Pケーブルに確実に差し込みます。

[illegible]

23

(TYPE)

 リモコン ボタンを続けて2回押した場合は同様に3回点滅しますがリモコン ボタンを続けて2回押しても警報履歴機能が動くため点滅はしません。

24

ホーン線の取り付け(任意配線)

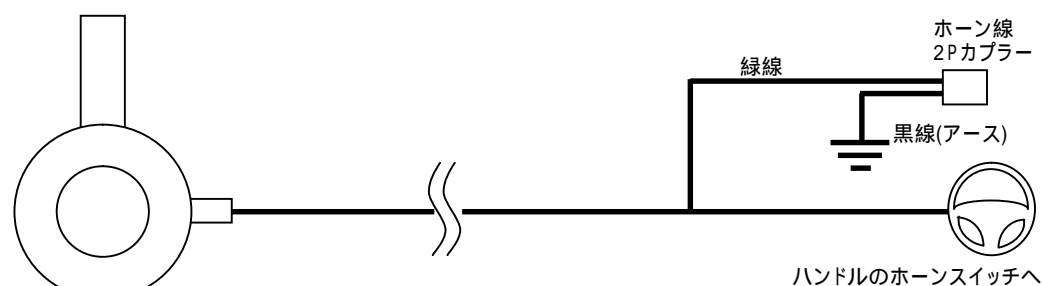
(TYPE ,)

外部ホーン出力線にホーンを取り付けすることによって、ホーンからでも警報音を鳴らすことができます。

ホーン線を検出する場合、必ずサーキットテスターを使用して下さい。又、誤って他機器(エアバッグ等)に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

配線方法

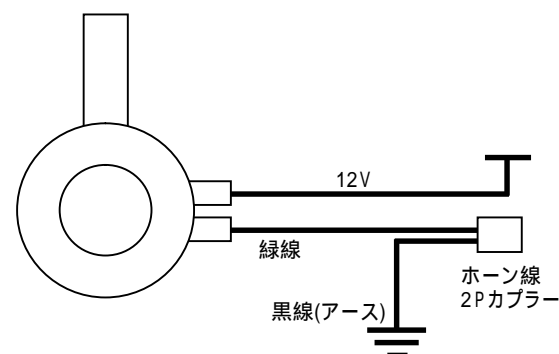
A) 純正ホーンを使用する場合



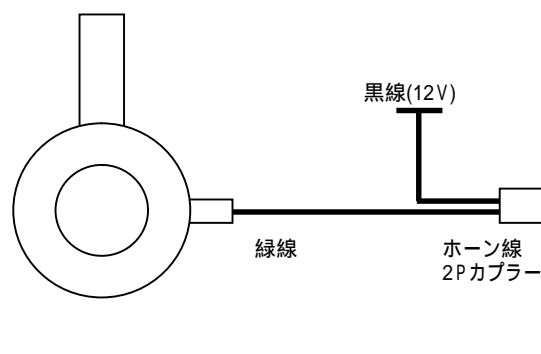
注意

三菱車等一部車種では、エンジンキーOFF時にホーンが鳴らない車両があります。その場合、別ホーンが必要となりますので、市販されているホーンをお買い求め下さい。

B) 市販ホーンを追加して使用する場合 2極タイプの場合



1極タイプの場合



ホーンの動き

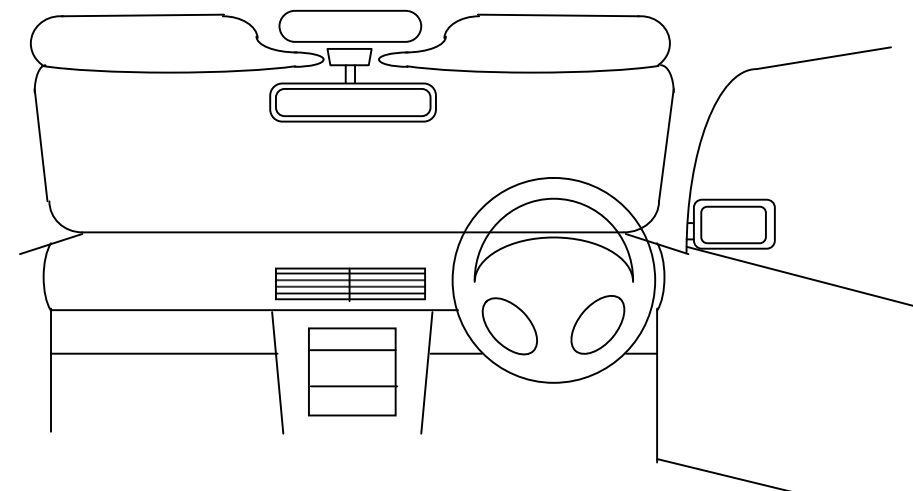
ホーンは以下のセンサー検出時に警報させることができます。(除くタイプ)

- ・ドアセンサー
- ・人体センサー
- ・傾斜センサー
- ・緊急警報(タイプ のみ)
- ・サウンドセンサー(オプション装着時)
- ・キーセンサー(オプション装着時)

本体の取り付け

本体の設置は各配線を終えてから行って下さい。

本体設置の準備・取り付け



は本体の推奨取付位置です。運転席側に取り付ける場合は、運転に支障がないよう配線を行って下さい。

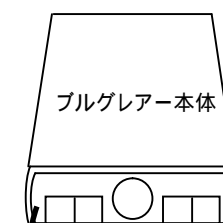
上図を参考にして本体の固定場所を決めます。本体には多数の配線が出ていますので、運転に支障のない場所に設置を行って下さい。本体を付属の両面テープまたは、インシュロックで固定します。オプションハーネスの16Pカブラーを本体の16Pカブラーに接続します。(TYPE1を除く)電源ハーネスの6Pカブラーを本体の6Pカブラーに接続します。全ての配線が確実に行われている場合、標準LEDが点灯します。この後、リモコンのIDコードを登録して下さい。(P27リモコンIDコードを本体に新規登録参照)本体をONにしてキャンセルタイム終了後、各センサーが反応して警報することを確認して下さい。



注意

本体設置は各センサーの配線を必ず行って下さい。又、運転に支障のないように配線を行って下さい。本体は各センサーを電氣的に演算しますので荷重や衝撃が加わりますと変形や損傷による動作不良、性能の劣化になりますのでご注意下さい。

左図のようにアンテナ線がまっすぐ垂れ下がるようにして下さい。



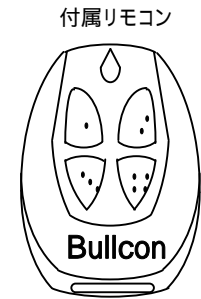
アンテナ線がまっすぐ垂れ下がるようにして下さい。



注意

アンテナ線をハーネス等に巻きつけたり、結んだりすると、無線の感度が極端に悪くなりますので十分ご注意下さい。アンテナ線は絶対に切らないで下さい。又、ボディアースに絶対に触れない様にして下さい。無線障害を起こす可能性があります。

リモコン使用時のご注意



リモコン使用時に図1のように灰色の領域を持つようにして下さい。図2の灰色の領域のようにリモコン先端部を覆い隠すように持ますと、無線通信の感度が極端に悪くなる恐れがありますのでご注意下さい。無線飛距離は約5m～約10mです。

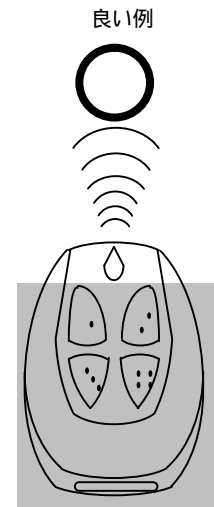


図1

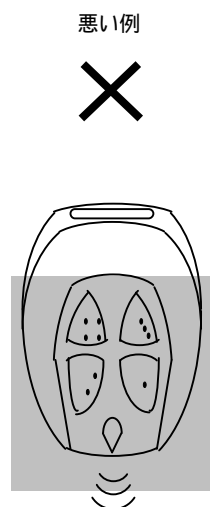
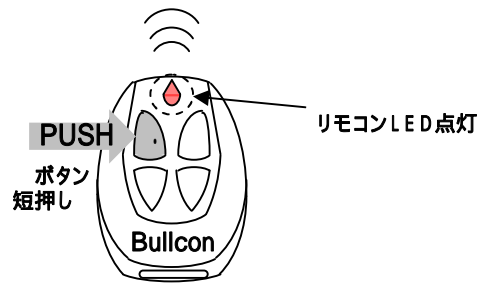
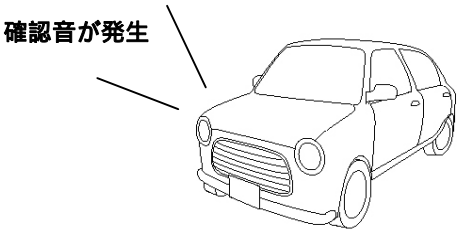


図2

リモコンIDコードを本体に新規登録

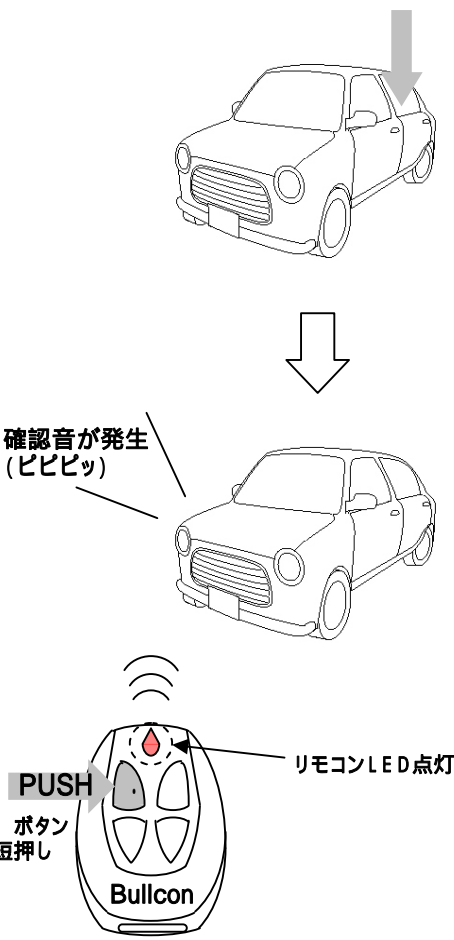


全ての配線が完了しますと標準LEDが点灯しますので、すぐにリモコン又は、ボタンを本体に向けて短押しします。ハイパースピーカーから確認音が鳴り、IDコードが登録されたことをお知らせします。これで登録完了です。
TYPEには2個のリモコンが付属されていますが、両方同じIDコードが入っていますので、どちらか一方が登録されると2個とも使用が可能になります。(TYPEのみ1個付属)

!	リモコンIDコードを本体に新規登録する際、他にグレアー取り付け車両が側にある時は、そのグレアーのリモコンIDコードで受け付けてしまう場合がありますのでご注意下さい。
注意	必ず ボタン又は、ボタンを短押しして登録して下さい。万が一、長押しを行い、各モードに入った場合は、ボタンを短押しした後、再度登録を行って下さい。

本体操作方法

本体ON・OFF ドアをLOCKして下さい。



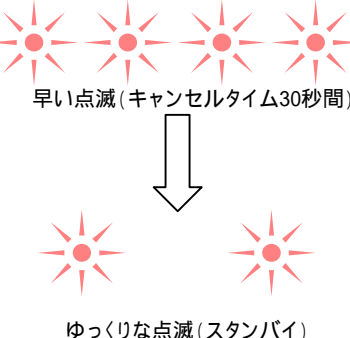
A)作動方法

エンジン停止後、全ての窓を閉めドアをロック(施錠)します。リモコンの ボタンを1回短押しします。この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが30秒間早い点滅(キャンセルタイム)が始まります。上記作動後、標準LEDがゆっくりの点滅になり、本体がスタンバイ(警戒状態)になったことをお知らせします。以降、各センサーが異常を検知すると警報します。



窓、ドア等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。
作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
キャンセルタイム中は各センサーは反応しないのでご注意下さい。
LED制御機能を働かせた場合、キャンセルタイム終了後標準LEDが消灯します。(P39LED制御機能参照)

標準LEDの動作



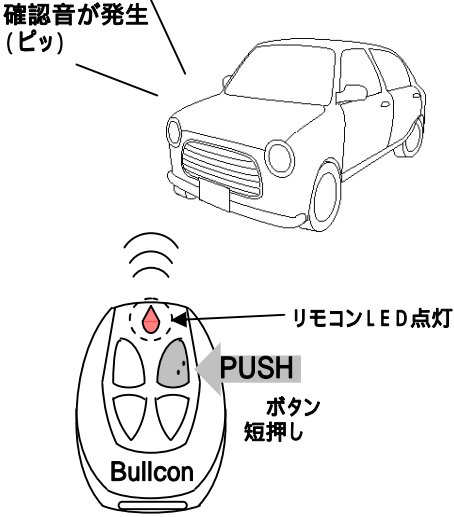
B)解除方法

本体スタンバイ中にリモコンの ボタンを1回短押しします。この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが消灯し本体がOFF(警戒状態解除)になります。警報した回数を知りたい場合は、警報履歴機能で知ることができます。(P40警報履歴機能参照)



作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
LED制御機能を働かせている場合、本体OFF時に機能が解除されます。(P39LED制御機能参照)

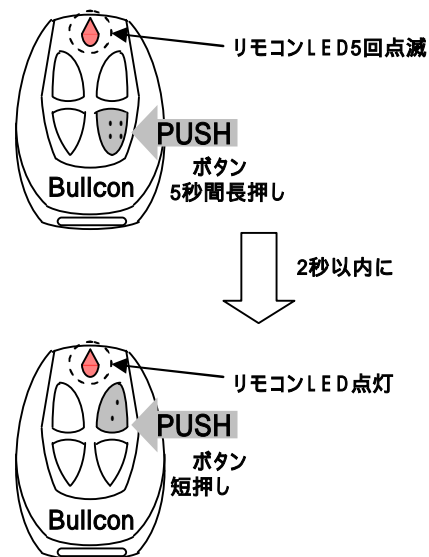
リモコンエンジンスターター付き車はP43を参照、ターボタイマー付き車はP44を参照して下さい。



スーパーセンサー 警告の感度調整方法1

スーパーセンサー の警告感度を16段階でボリューム調整できます。
感度調整は本体ON時、OFF時に設定が行えます。

A)感度調整モードにする 出荷時はレベル9になっています

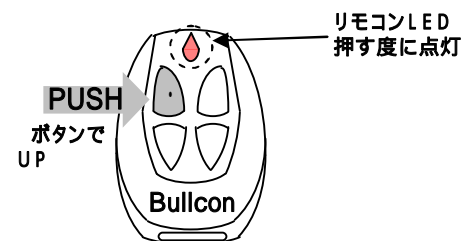


ボタンを5秒間長押しした後、2秒以内に ボタンを短押しし、感度調整モードにします。感度調整モードに入った時、ハイパースピーカーから確認音が鳴りモードに入ったことをお知らせします。

	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度調整モード入力時、リモコンボタンを押し続ける際、途中でボタンから指を離した場合は始めから操作を行って下さい。
	万が一、各警報中及び、キャンセルタイム時に警告感度調整モードに入ってしまった場合は、警報終了後又は、キャンセルタイム終了後、リモコンの + ボタンを押しモードを終了させて下さい。

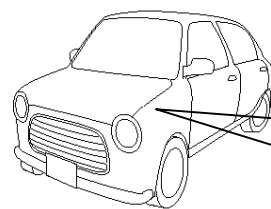
B)感度の調整 感度をUP、DOWNさせながら感度調整を行います。

感度を上げる場合



ボタンを押す度に感度が上がり、上げる度にリモコンLED部が点滅します。
感度が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

	感度を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後にハイパースピーカーから確認音が鳴り、感度調整モードを強制的に終了します。
	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度が16段階中、最高(16)になると確認音が鳴り最高であることをお知らせします。

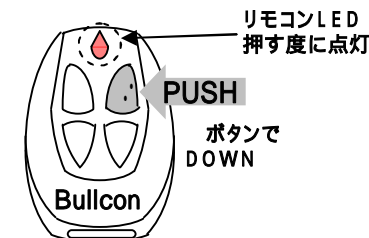


1 ピッ	9 ピーピーピーッ
2 ピピッ	10 ピーピーッ
3 ピピピッ	11 ピーピーピッ
4 ピピピピッ	12 ピーピーピピッ
5 ピーッ	13 ピーピーピピピッ
6 ピーピッ	14 ピーピーピピピピッ
7 ピーピピッ	15 ピーピーピーッ
8 ピーピピピッ	16 ピーピーピーッ

感度が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

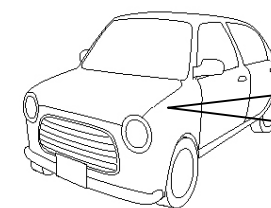
スーパーセンサー 警告の感度調整方法2

感度を下げる場合



ボタンを押す度に感度が下がり、下げる度にリモコンLED部が点滅します。
感度が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

	感度を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後にハイパースピーカーから確認音が鳴り、感度調整モードを強制的に終了します。
	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度が16段階中、最低(1)になると本体確認音が鳴り最低であることをお知らせします。この時、警告の感度はOFFになります。



16 ピーピーピーッ	8 ピーピピッ
15 ピーピーピーッ	7 ピーピッ
14 ピーピーピピピッ	6 ピーピッ
13 ピーピーピピピッ	5 ピーッ
12 ピーピーピッ	4 ピピピッ
11 ピーピーッ	3 ピピッ
10 ピーピーッ	2 ピピッ
9 ピーピピピッ	1 ピッ

感度が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

C)感度確認

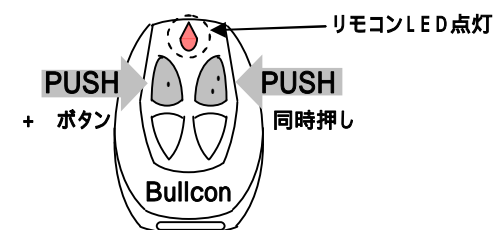
適度な感度設定

ドアを軽めに叩いた時、警告が鳴るように設定して下さい。又、駐車される環境に応じて感度設定をされることをお勧めします。

適度な衝撃で警告が鳴るように感度を調整して下さい。
衝撃を与えるたびにハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

	この時、何も動作(衝撃)がない場合1分後、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に感度調整モードを強制終了します。
--	-------------------------------------------------------------

D)感度決定



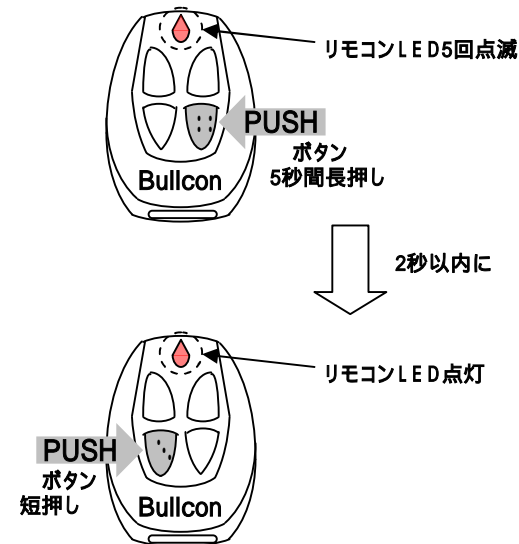
上記動作で適度な感度になったところで + ボタンを押し、感度調整を終了させます。感度調整モードを終了した時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

	警告の感度は警報の感度より高く設定するようにして下さい。警告の感度が低い場合、警報しない恐れがあります。
--	------------------------------------------------------

スーパーセンサー 警報の感度調整方法1

スーパーセンサー の警報感度を16段階でボリューム調整できます。
感度調整は本体ON時、OFF時に設定が行えます。

A)感度調整モードにする 出荷時はレベル9になっています

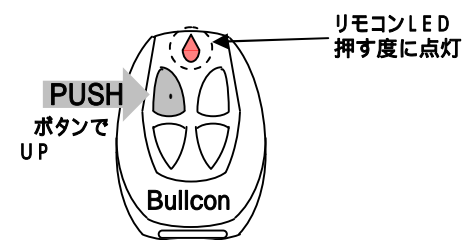


ボタンを5秒間長押しした後、2秒以内に ボタンを短押しし、感度調整モードにします。感度調整モードに入った時、ハイパースピーカーから確認音が鳴りモードに入ったことをお知らせします。

<div>!</div> 注意	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度調整モード入力時、リモコンボタンを押し続ける際途中でボタンから指を離した場合は始めから操作を行って下さい。
	万が一、各警報中及び、キャンセルタイム時に警報感度調整モードに入ってしまった場合は、警報終了後又は、キャンセルタイム終了後、リモコンの + ボタンを押しモードを終了させて下さい。

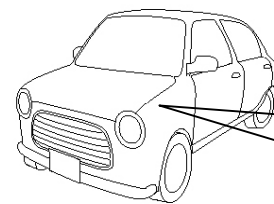
B)感度の調整 感度をUP、DOWNさせながら感度調整を行います。

感度を上げる場合



ボタンを押す度に感度が上がり、上げる度にリモコンLED部が点滅します。
感度が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

<div>!</div> 注意	感度を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし、作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後にハイパースピーカーから確認音が鳴り、感度調整モードを自動的に終了します。
	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度が16段階中、最高(16)になると確認音が鳴り、最高であることをお知らせします。

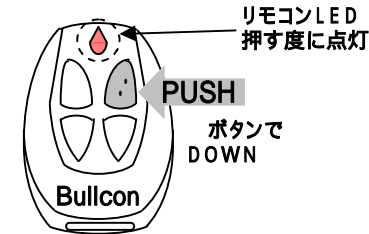


1 ビッ	9 ピーピーピーッ
2 ピピッ	10 ピーピーッ
3 ピピピッ	11 ピーピーピッ
4 ピピピピッ	12 ピーピーピピッ
5 ピーッ	13 ピーピーピピピッ
6 ピーピッ	14 ピーピーピピピピッ
7 ピーピピッ	15 ピーピーピーッ
8 ピーピピピッ	16 ピーピーピーッ

感度が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

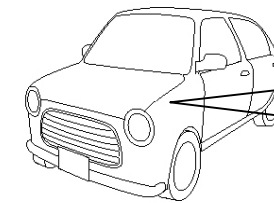
スーパーセンサー 警報の感度調整方法2

感度を下げる場合



ボタンを押す度に感度が下がり、下げる度にリモコンLED部が点滅します。
感度が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

<div>!</div> 注意	感度を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし、作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後にハイパースピーカーから確認音が鳴り、感度調整モードを自動的に終了します。
	感度調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に感度調整モードを強制終了します。
	感度が16段階中、最低(1)になると確認音が鳴り、最低であることをお知らせします。この時警報の感度はOFFになります。



16 ピーピーピーッ	8 ピーピピッ
15 ピーピーピーッ	7 ピーピピッ
14 ピーピーピピピッ	6 ピーピッ
13 ピーピーピピピッ	5 ピーッ
12 ピーピーピッ	4 ピピピピッ
11 ピーピーピッ	3 ピピピッ
10 ピーピーッ	2 ピピッ
9 ピーピピピッ	1 ピッ

感度が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

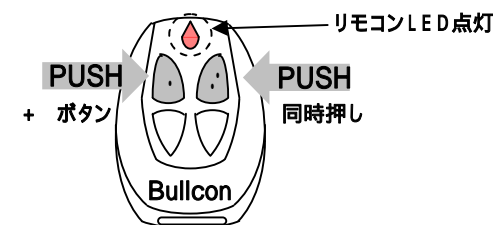
C)感度確認

適度な感度設定
ドアを強めに叩いた時、警報が鳴るように設定して下さい。また、駐車される環境に応じて感度設定をされることをお勧めします。

適度な衝撃で警報が鳴るように感度を調整して下さい。
衝撃を与えるたびにハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

<div>!</div> 注意	この時、何も動作(衝撃)がない場合1分後、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に感度調整モードを強制終了します。
------------------------	-------------------------------------------------------------

D)感度決定



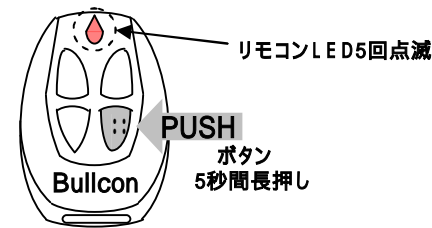
上記動作で適切な感度になったところで + ボタンを押し、感度調整を終了させます。感度調整モードを終了した時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

<div>!</div> 注意	警報の感度は警告の感度より低く設定するようにして下さい。警報の感度が高い場合、警報しない恐れがあります。
------------------------	------------------------------------------------------

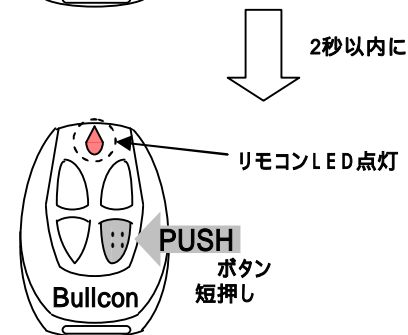
スーパーセンサー 警報の音量調整方法1

スーパーセンサー の警報音量を16段階でボリューム調整できます。
音量調整は本体ON時、OFF時に設定が行えます。

A)音量調整モードにする 出荷時は最大音量レベル16になっています。



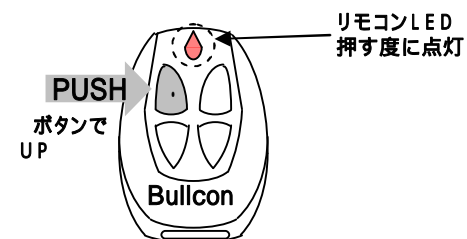
ボタンを5秒間長押しした後、2秒以内に ボタンを短押しし、音量調整モードにします。音量調整モードに入った時、ハイパースピーカーから設定時の確認音が鳴り、モードに入ったことをお知らせします。



<div>!</div> 注意	音量調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に感度調整モードを強制終了します。
	音量調整入力時、リモコンボタンを押し続ける際、途中でボタンから指を離した場合は、始めから操作を行って下さい。
	万が一、各警報中及び、キャンセルタイム時に音量調整モードに入ってしまった場合は、警報終了後又は、キャンセルタイム終了後、リモコンの + ボタン押しモードを終了させて下さい。

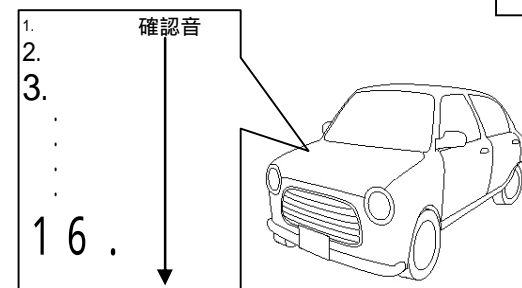
B)音量の調整 音量をUP、DOWNさせながら音量調整を行います。確認音は3トーンセレクト機能 (P35参照) で選択された音が鳴りますので確認して下さい。(TYPE は除く)

音量を上げる場合

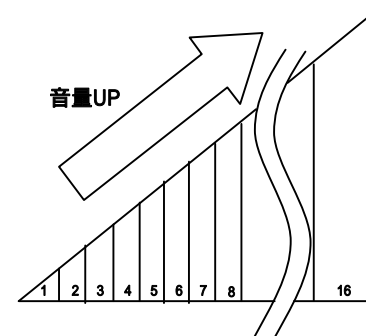


ボタンを押す度に音量が上がリ、上げる度にリモコンLED部が点滅します。
音量が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

<div>!</div> 注意	音量調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に音量調整モードを強制終了します。
	音量が16段階中、最高(16)になると本体確認音が変化しなくなり最高であることをお知らせします。
	音量を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし、作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後にハイパースピーカーから確認音が鳴り、音量調整モードを強制的に終了します。

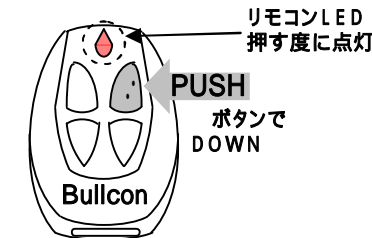


音量が上がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。



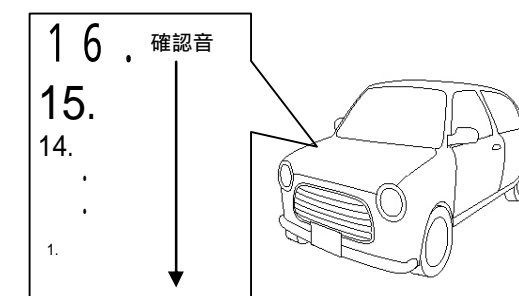
スーパーセンサー 警報の音量調整方法2

音量を下げる場合

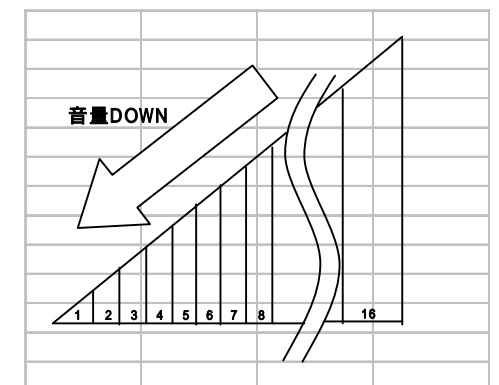


ボタンを押す度に音量が下がり、下げる度にリモコンLED部が点滅します。
音量が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

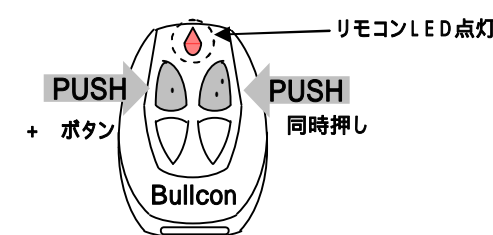
<div>!</div> 注意	音量調整モード時、1分間何もリモコン操作がない場合は、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、自動的に音量調整モードを強制終了します。
	音量が16段階中、最低(1)になると本体確認音が変化しなくなり、最低であることをお知らせします。
	音量を上げる時又は、下げる時は、早くボタンを押さないで下さい。リモコンがロックし作動しなくなる場合があります。上記症状になった場合は、リモコンボタンを何も押さずに放置して下さい。1分後に本体から確認音が鳴り、音量調整モードを強制的に終了します。



音量が下がる度に、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。



C)音量決定



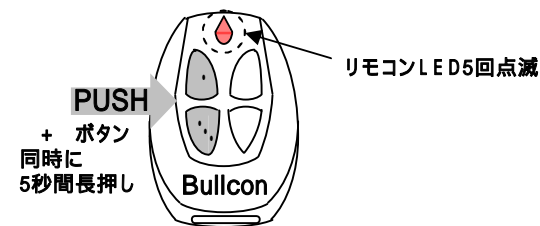
上記動作で適度な音量になったところで + ボタンを押し、音量調整を終了させます。音量調整モードを終了した時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

スーパーセンサー 3トーンセレクト機能 (TYPE ,)

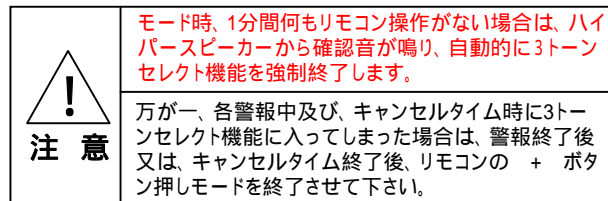
スーパーセンサー の警報音を3パターンの音色から任意に選択できます。
3トーンセレクト機能は、本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。
又、記憶方式の為、本体をOFFにしても3トーンセレクト機能の設定を維持しています。

音色選択方法

出荷時はB音になっています。



+ ボタンを5秒間長押しします。
モードに入った時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、モードに入ったことをお知らせします。



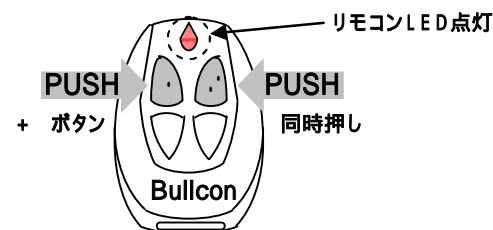
A) 音色選択方法

モード時以下の操作で警報音色の選択ができます。

A音に設定		
B音に設定		
C音に設定		

B) 音色決定

上記で音色を選択後 + ボタンを押し、決定します。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。

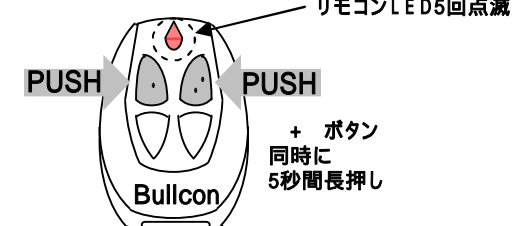


スーパーセンサー 警報時間選択機能 (TYPE)

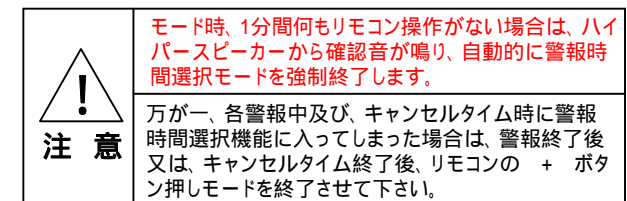
スーパーセンサー の警報時間を3パターン(5秒・10秒・30秒)から任意に設定や変更ができます。
警報時間選択機能は本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。
又、記憶方式の為、本体をOFFにしても警報時間選択機能の設定を維持しています。

警報時間選択方法

出荷時、警報時間は10秒の状態です。



+ ボタンを5秒間長押しします。
モードに入った時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、モードに入ったことをお知らせします。



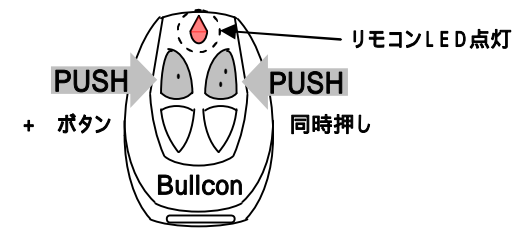
A) 警報時間選択方法

モード時以下の操作で警報時間の選択ができます。

5秒設定		
10秒設定		
30秒設定		

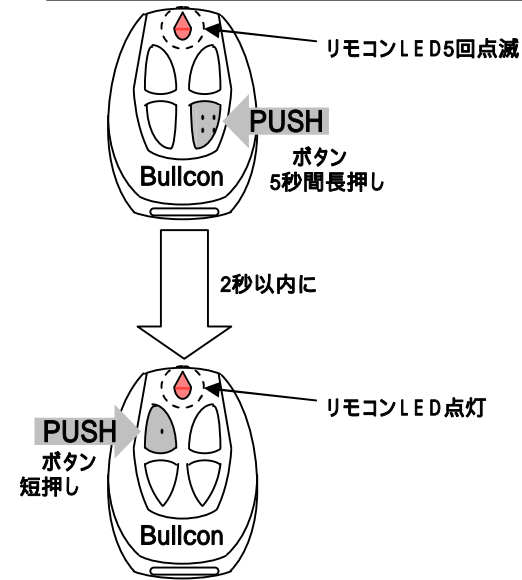
B) 警報時間決定

上記で時間を選択後、 + ボタンを押し決定します。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。



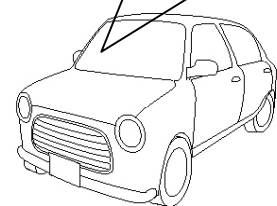
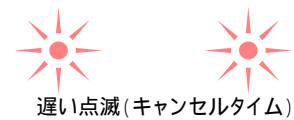
スーパーセンサー センサーカット機能

スーパーセンサー の振動のみを感知しないようにできます。
センサーカット機能は、本体OFF時に設定が行えます。
本体をOFFすることで、センサーカット機能を解除できます。



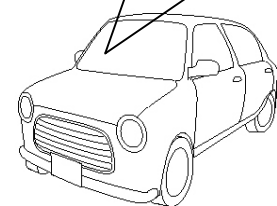
本体OFF時に ボタンを5秒間長押しし、2秒以内に ボタンを短押しして本体をONにします。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。
標準LEDが30秒間点滅(通常のキャンセルタイムより若干遅めの点滅)します。
標準LEDのキャンセルタイム中の点滅は、通常のキャンセルタイムよりも若干遅く設定しております。スタンバイ状態の点滅は、通常と同じ早さです。したがって、センサーカット機能ではキャンセルタイム中の点滅が、スタンバイ状態の点滅よりも遅くなっていますのでご了承下さい。

注意 作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)



キャンセルタイム終了後、本体LEDが通常の点滅になり、本体がスタンバイ(警戒状態)になったことをお知らせします。

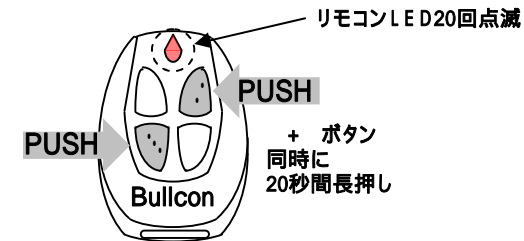
注意 センサーカット機能は本体をOFFした時点で解除されます。
LED制御機能を働かせている場合、本体OFF時に機能が解除されます。(P39LED制御機能参照)



電流センサー制御機能

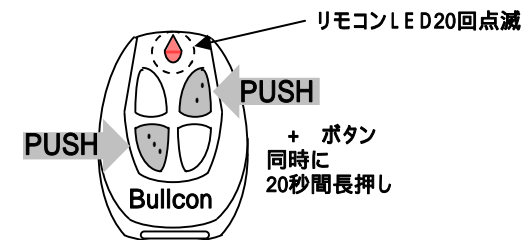
電流センサーの使用できない車両では切ることができます。
電流センサー制御機能は、本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。
又、記憶方式の為、本体をOFFにしても電流センサー制御機能の設定を維持しています。

出荷時、電流センサー制御機能はONの状態です。
電流センサー制御機能をOFFにする



+ ボタンを20秒間長押しします。モードに入った時ハイパースピーカーから確認音が4回鳴り、電流センサー制御機能がOFFになったことをお知らせします。

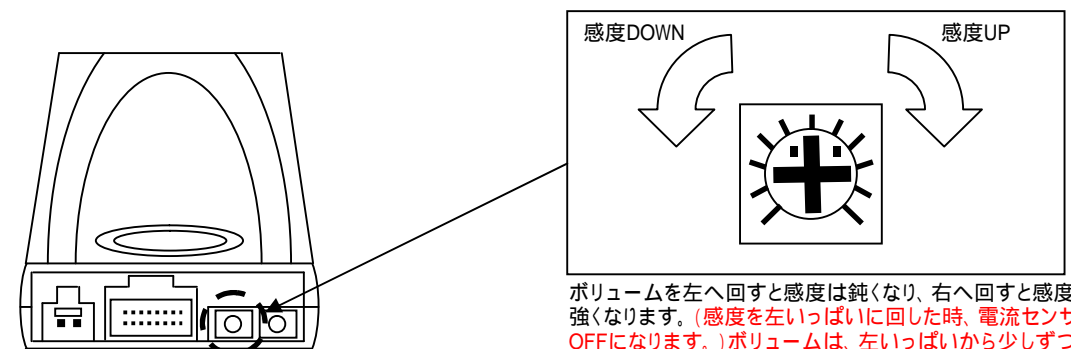
電流センサー制御機能をONにする



+ ボタンを20秒間長押しします。モードに入った時ハイパースピーカーから確認音が2回鳴り、電流センサー制御機能がONになったことをお知らせします。

電流センサーの感度調整方法

車両に応じて電流センサーの感度を調整して下さい。



注意 出荷時のボリューム位置は中心になっています。
感度を上げ過ぎますと誤報の恐れがありますのでご注意ください。

本体ON時以降、電流センサーで異常を感知した時に約30秒の警報が鳴ります。

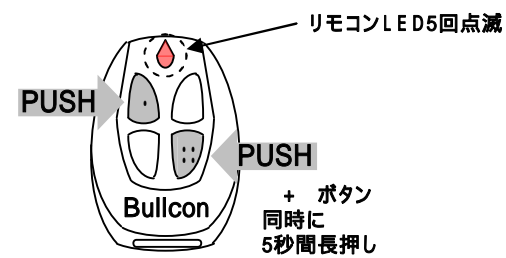
作動確認音制御機能

グレアーの作動確認音のみ消すことができます。

作動確認音制御機能は、本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。又、記憶方式の為、本体をOFFにしても作動確認音制御機能の設定を維持しています。

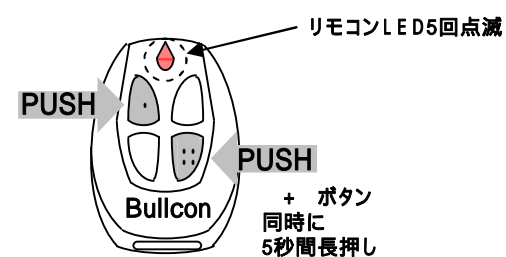
出荷時、作動確認音制御機能はOFFの状態です。

作動確認音制御機能をONにする



+ ボタンを5秒間長押しします。設定された時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、作動確認音制御機能がONになったことをお知らせします。

作動確認音制御機能をOFFにする



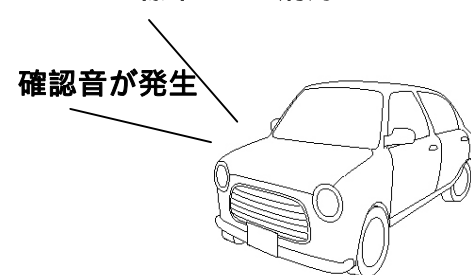
+ ボタンを5秒間長押しします。設定された時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、作動確認音制御機能がOFFになったことをお知らせします。

LED制御機能

グレアー作動中、標準LEDを任意で消灯することができます。

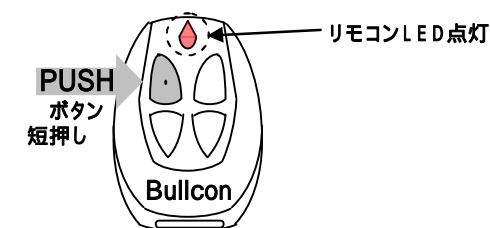
LED制御機能は、キャンセルタイム時又は、本体ON時に設定が行えます。本体をOFFにすると解除されます。

標準LEDを消灯させる



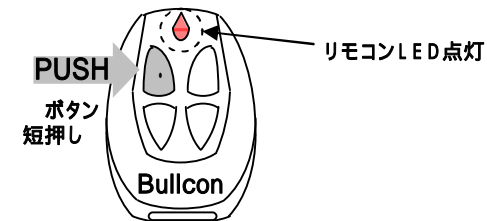
キャンセルタイム時又は、本体スタンバイ時、リモコンの ボタンを1回短押しします。この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴ります。又、キャンセルタイム時にLED制御機能を働かせた場合は、キャンセルタイム後に標準LEDが消灯します。

上記動作後、標準LEDが消灯します。標準LEDを消灯後、点滅させるには、再度 ボタンを短押しして下さい。ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが点滅します。



ミュート機能

警報を強制的に止めることができます。

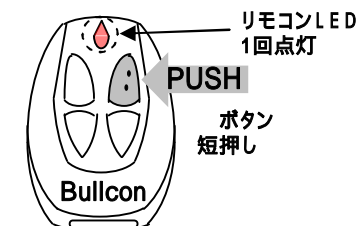


セキュリティ警報中に ボタンを1回短押しするとミュート機能が働き、警報音が止まります。この時、本体は警戒状態を維持します。
ただし、間違っ て ボタンを押しますと警報音は止まりますが本体もOFFになりますのでご注意ください。

警報履歴機能

グレアーの作動中に発した警報の履歴をLEDの点滅回数で確認できます。

警報履歴機能は本体OFF時に使用ができます。



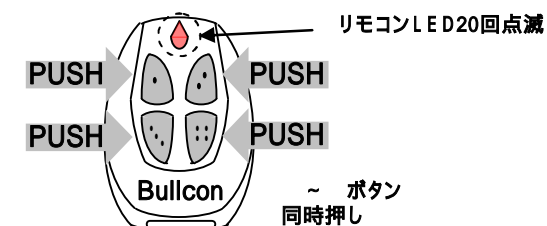
本体OFF時、 ボタンを短押しします。この時、本体LEDが警報した回数分だけ点滅してお知らせします。点滅しますので確認して下さい。
警報履歴表示終了後、0.5秒以内に ボタンを短押ししますと警報履歴を消去することができます。

警報履歴表示中はリモコン操作を受け付けないので ご了承下さい。

リセット機能

ワンタッチ操作で各機能を出荷時の初期設定の状態に戻します。

リセット機能は、本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。



全てのボタンを同時に、20秒間長押ししてください。ハイパースピーカーから確認音が鳴り、全ての機能が初期状態(出荷状態)に戻ります。

緊急警報機能

(TYPE)

遠隔操作で離れた場所から強制的に警報を鳴らすことができます。

緊急警報機能は本体ON/OFF時又は、キャンセルタイム時、警報時に警報が鳴らせます。又、エンジン始動時の本体ON状態でも警報が可能です。

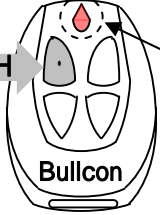
緊急警報を行う場合

ボタンを5秒間長押しします。

リモコンLED5回点滅

PUSH

ボタン
5秒間長押し



注意

緊急警報機能により出された警報音は、ボタンあるいは、ボタン以外で停止することはできません。

	ボタン	ボタン
本体ON時	ミュート スタンバイ	本体OFF
本体OFF時	ミュート スタンバイ	本体OFF
キャンセルタイム時	ミュート スタンバイ	本体OFF
エンジン始動時	ミュート エンジン始動モード	本体OFF

縦軸：緊急警報突入時の本体の状態 横軸：緊急警報時に押すボタン

強制的に警報できます。

外部ホーン出力制御機能

(TYPE ,)

外部ホーン出力線にホーンを接続した場合、ホーンを鳴らすか鳴らさないかの選択ができます。

外部ホーン出力制御機能は、本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。又、記憶方式の為、本体をOFFにしても外部ホーン出力制御機能の設定を維持しています。

出荷時、外部ホーン出力制御機能はONの状態です。
外部ホーン出力機能をOFFにする

リモコンLED5回点滅

PUSH

ボタン
5秒間長押し

と ボタンを5秒間長押しします。
ハイパースピーカーから確認音が2回鳴り外部ホーン出力制御機能がOFFになったことをお知らせします。

外部ホーン出力機能をONにする

リモコンLED5回点滅

PUSH

ボタン
5秒間長押し

と ボタンを5秒間長押しします。
ハイパースピーカーから確認音とホーンが1回鳴り外部ホーン出力機能がONになったことをお知らせします。

オプション入力制御機能

(TYPE)

オプション入力線(桃色線)に接続した当社オプション製品(今後発売予定)をリモコンの操作で制御することができます。

オプション入力制御機能は本体ON時又は、OFF時に設定が行えます。又、記憶方式の為、本体をOFFにしてもオプション入力制御機能の設定を維持しています。

出荷時、オプション入力制御機能はOFFの状態です。
オプション入力制御機能をONにする

リモコンLED5回点滅

PUSH

+ ボタン
同時に
5秒間長押し

と ボタンを5秒間長押しします。
ハイパースピーカーから確認音が鳴り、入力線がONになったことをお知らせします。

オプション入力制御機能をOFFにする

リモコンLED5回点滅

PUSH

+ ボタン
同時に
5秒間長押し

と ボタンを5秒間長押しします。
ハイパースピーカーから確認音が鳴り、入力線がOFFになったことをお知らせします。

マルチ出力制御機能

(TYPE)

マルチ出力線(黄/白線・緑/白線)に接続した当社オプション製品(今後発売予定)をリモコンの操作で制御することができます。

リモコンLED5回点滅

PUSH

ボタン
5秒間長押し

ボタンを5秒間長押しでモードに入ります。
ボタンを押すと緑/白線からマイナス出力します。
ボタンを押すと黄/白線からマイナス出力します。
終了するには + ボタンを同時に押します。

リモコンLED1回点灯

PUSH

ボタン
短押し

出力1

リモコンLED1回点灯

PUSH

ボタン
短押し

出力2

リモコンLED1回点灯

PUSH

+ ボタン
同時に押しで終了

リモコンエンジンスターター付き車の操作方法


エンジン始動中又は、停止であることを自動認識します。

本体ON・OFF

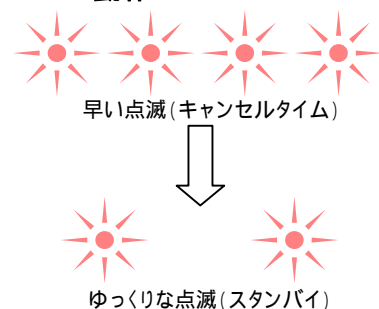
ドアをLOCKして下さい。

A)作動方法

エンジン停止後、全ての窓を閉めドアをロック(施錠)します。
リモコンの ボタンを1回短押しします。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが30秒間早い点滅(キャンセルタイム)をします。
上記作動後、標準LEDがゆっくりの点滅になり、本体がスタンバイ(警戒状態)になったことをお知らせします。
以降、異常があれば警報します。
リモコンエンジンスターターでエンジンを始動します。
この時、標準LEDがLED制御機能に関係なく、点灯し本体が待機状態(警報しない状態)になります。


 <p>注意</p>	窓、ドア等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。
	作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
	早い点滅(キャンセルタイム)をしている時は各センサーは反応しないのでご注意ください。
	LED制御機能を働かせた場合、キャンセルタイム終了後標準LEDが消灯します。(P39LED制御機能参照) ドアスイッチ線を接続されている場合は、ERS機能(P5参照)により、ドアが開けられると警報します。

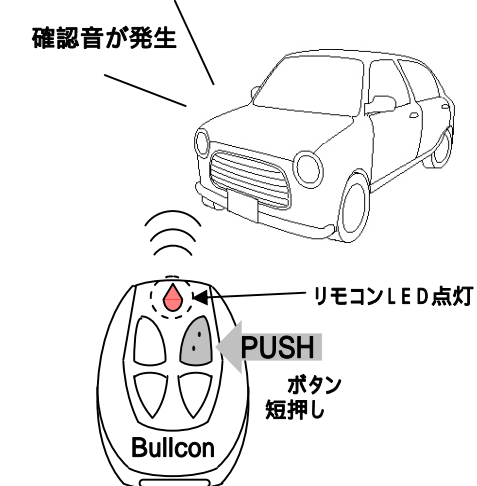
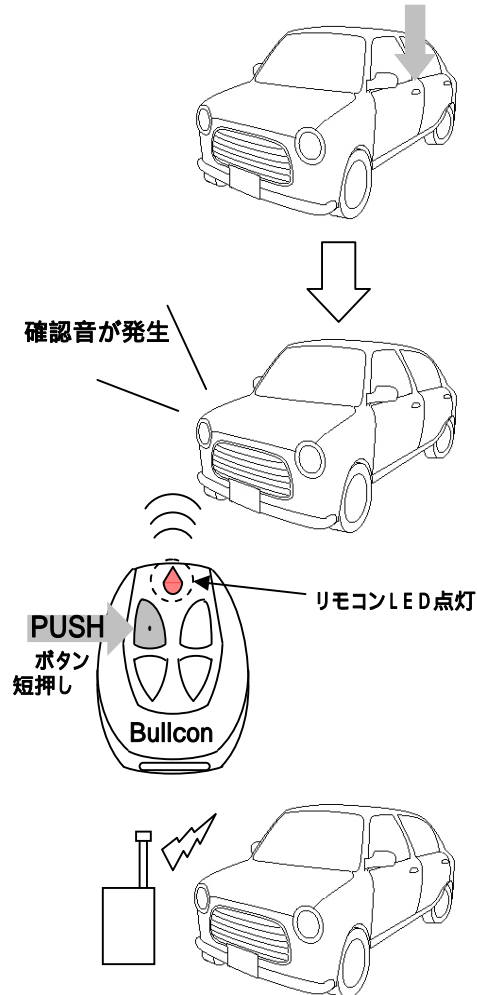
標準LEDの動作



B)解除方法

本体スタンバイ中にリモコンの ボタンを1回短押しします。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが消灯し本体がOFF(警戒状態解除)になります。
スーパーセンサー で警報した回数を知りたい場合は、警報履歴機能で知ることができます。(P40警報履歴機能参照)

 <p>注意</p>	作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
	LED制御機能を働かせている場合、本体OFF時に機能は解除されます。(P39LED制御機能参照)



ターボタイマー付き車の操作方法

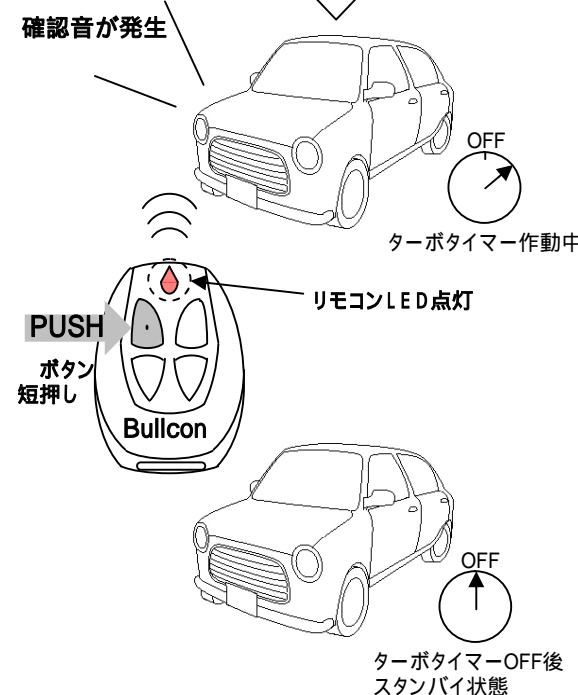
エンジン始動中又は、停止であることを自動認識します。


本体ON・OFF

ドアをLOCKして下さい。

A)作動方法

エンジンキーをOFFの位置にします。この時ターボタイマーが作動します。全ての窓を閉めドアをロック(施錠)します。
ターボタイマー作動中、リモコンの ボタンを1回短押しします。
この時、LED制御機能に関係なく標準LEDが点灯します。
ターボタイマーがOFFになり、本体LEDが30秒間早い点滅をします。
上記作動後、標準LEDがゆっくりの点滅になり、本体がスタンバイ(警戒状態)になったことをお知らせします。
以降、異常があれば警報します。




 <p>注意</p>	窓、ドア等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。
	作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
	早い点滅(キャンセルタイム)をしている時は各センサーは反応しないのでご注意ください。
	LED制御機能を働かせた場合、キャンセルタイム終了後標準LEDが消灯します。(P39LED制御機能参照) ドアスイッチ線を接続されている場合は、ERS機能(P5参照)により、ドアが開けられると警報します。

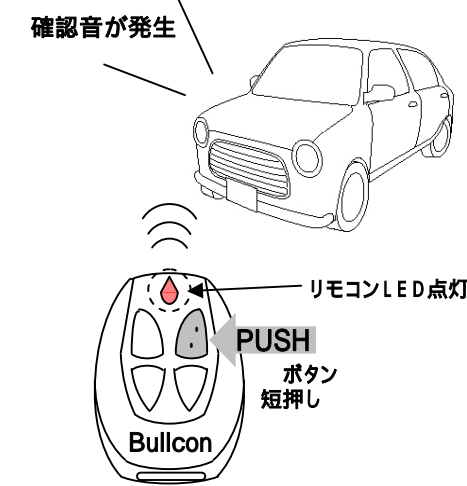
標準LEDの動作



B)解除方法

本体スタンバイ中にリモコン ボタンを1回短押しします。
この時、ハイパースピーカーから確認音が鳴り、標準LEDが消灯し、本体がOFF(警戒状態解除)になります。
スーパーセンサー で警報した回数を知りたい場合は、警報履歴機能で知ることができます。(P40警報履歴機能参照)

 <p>注意</p>	作動確認音制御機能OFFの状態での確認音は鳴りません。(P39作動確認音制御機能参照)
	LED制御機能を働かせている場合は、本体OFF時に機能は解除されます。(P39LED制御機能参照)

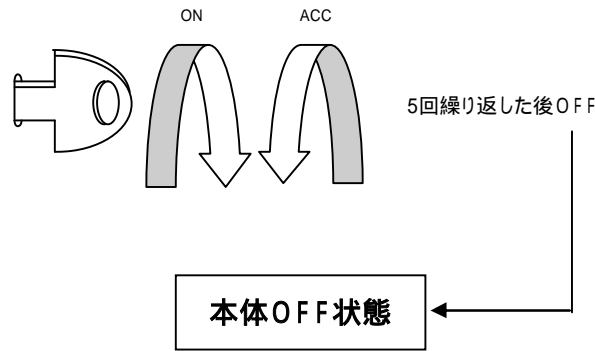


強制解除

本体ONの状態でも万一、リモコンの電池消耗や紛失等により、リモコンで解除できない場合は以下の操作で強制的に機能を停止できます。(警報時に操作可能です。)

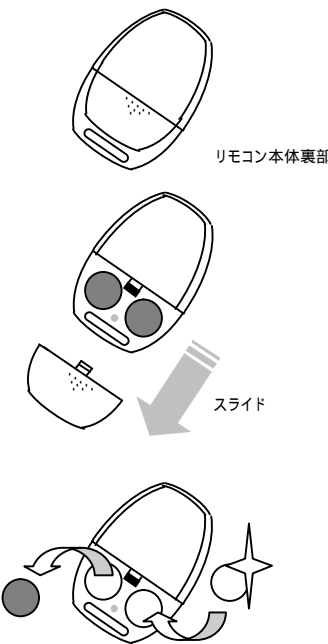
リモコンのIDコード抹消・登録時(P46参照)は**本体OFF**であることが条件となりますのでこの強制解除の目的は以下の操作によって警報音が鳴っていればその警報音を停止させ、かつリモコンのIDコード抹消・登録の前準備状態にすることです。

警報時に以下の操作をします。
キーをACC IGと5回繰り返し入力した後、OFFにします。



上記操作の1秒後に本体OFFの状態になります。
リモコンを紛失された場合は次ページの「リモコンIDコードの抹消・登録」参照の上、再度登録を行って下さい。

リモコン電池交換方法



以下のような症状が出たら電池交換時期です。
リモコン電波の飛距離が短くなってきた。
リモコンLEDが暗く点灯又は、点滅する。
リモコンLEDの点灯が短い。
リモコンを押しても本体が反応しない。

電池交換方法
リモコンの裏蓋を外します。
電池を抜き取ります。
新しい電池をセットします。
裏蓋を元通りに閉めて完了です。

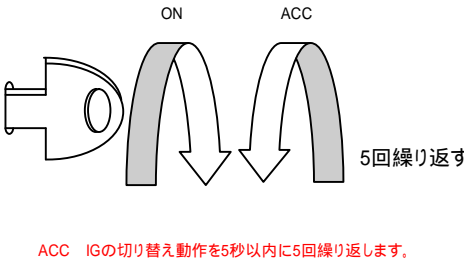
電池はボタン電池(CR1220 2個)をお買い求め下さい。

	付属の電池は作動チェック用の為、寿命が短いことが
	電池の寿命は約6ヶ月ですが使用状況により異なる場合があります。
	電池を交換する時は2個とも交換して下さい。

リモコンIDコードの抹消・登録

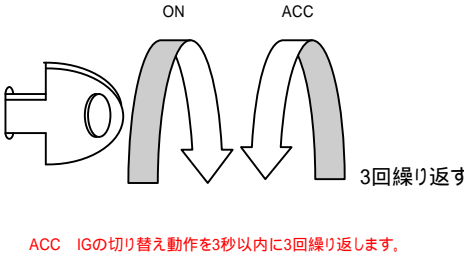
この操作はリモコンを紛失された時に行って下さい。
又、この機能は本体OFF時のみ行うことができます。

図1 抹消・登録方法



イグニッションスイッチにキーを差し込みACC IGの、切り替え動作を5秒以内に5回繰り返します。
この時標準LEDとハザードランプが短く点灯します。(図1参照)

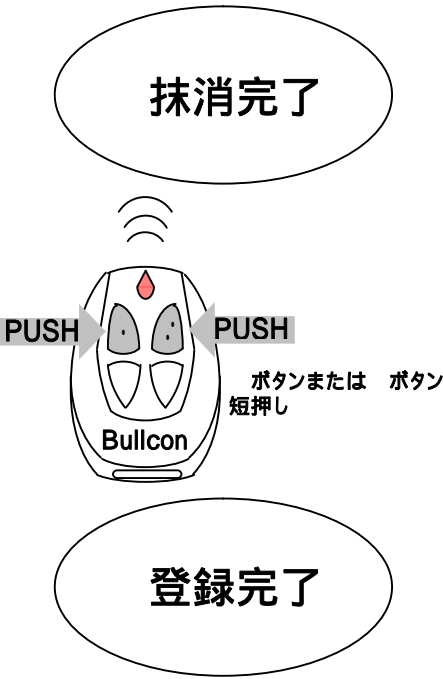
図2



の操作後、3秒以内にACC IGの切り替え動作を3回繰り返します。
この時、標準LEDとハザードランプが5回点滅し、抹消完了です。(図2参照)

上記操作後、引き続き登録状態になりますので5秒以内にリモコンの ボタンまたは ボタンを押して下さい。この時標準LEDとハザードランプが3回点滅します。(図3参照)
これで登録完了です。



















図3



	重要	ターボタイマー・エンジンスターター付き車は、必ず、各機器の電源をOFFにしてくださいと、登録できません。
	注意	ハザードランプでの確認はTYPE (オプション) 及び、TYPE (標準) となりますのでご注意ください。 で定められた秒数以上経過した場合又は、ボタン押し以外の操作を行った場合、標準LEDとハザードランプが長く点灯します。これは、登録エラーを示しています。この場合は、もう一度、手順 からやり直して下さい。 車外から作業を行う場合、手順の都合上、窓を開けた
















操作早見表1

短押しとは約1秒、長押しとは約5秒とします。

	リモコンボタン操作	リモコンLED表示	標準LED表示
本体ON	 ボタン短押し	1回点灯	 早い点滅(キャンセルタイム)  ゆっくり点滅(スタンバイ)
本体OFF	 ボタン短押し	1回点灯	
センサーカット (本体OFF時に設定可能)	 →  ボタン長押し後、2秒以内に ボタン短押し	 ↓ 5回点滅後 1回点灯	 点滅(通常キャンセルタイムより若干遅めの点滅)  点滅(通常スタンバイ)
電流センサー制御機能 (本体ON/OFF時に設定可能)	 + ボタン 約20秒間長押し	20回点滅	
作動確認音制御機能 (本体ON/OFF時に設定可能)	 + ボタン 長押し	5回点滅	
ミュート機能 (警報中に使用可能)	 警報中 ボタン短押し	1回点灯	
緊急警報機能 【TYPE】 (本体ON/OFF時及び、 キャンセルタイム時、 警報中に使用可能)	 ボタン 長押し	5回点滅	
LED制御モード (キャンセルタイム時及び スタンバイ時に設定可能)	 スタンバイ時 ボタン短押し	1回点灯	スタンバイ時の点滅は 消えます
警報履歴機能 (本体OFF時に確認可能)	 →  履歴消去方法 ボタン短押し後 0.5秒以内に ボタン短押し	1回点灯	スーパーセンサー で 警報した回数分 点滅します
外部ホーン出力制御機能 【TYPE , 】 (本体ON/OFF時に設定可能)	 + ボタン 長押し	5回点滅	
リセット機能 (本体ON/OFF時に設定可能)	 全ての ボタン 20秒間 長押し	20回点滅	

















操作早見表2

短押しとは約1秒、長押しとは約5秒とします。

	リモコンボタン操作	リモコンLED表示	標準LED表示
警告感度 調整モード受付 (本体ON/OFF時に 設定可能)	 →  ボタン長押し後、2秒以内に ボタン短押し	 ↓ 5回点滅後 1回点灯	
感度UP	 ボタン 押す度に 感度UP	1回点灯	
感度DOWN	 ボタン 押す度に 感度DOWN	1回点灯	
感度決定	 + ボタンで 決定	1回点灯	
警報感度 調整モード受付 (本体ON/OFF時に 設定可能)	 →  ボタン長押し後、2秒以内に ボタン短押し	 ↓ 5回点滅後 1回点灯	
感度UP	 ボタン 押す度に 感度UP	1回点灯	
感度DOWN	 ボタン 押す度に 感度DOWN	1回点灯	
感度決定	 + ボタン で決定	1回点灯	
3トーンセレクト機能受付 【TYPE , 】 (本体ON/OFF時に 設定可能)	 + ボタン 長押し	5回点滅	
音色選択	 ボタンの どれかを選択	1回点灯	
音色決定	 + ボタン で決定	1回点灯	

操作早見表3

短押しとは約1秒、長押しとは約5秒とします。

	リモコンボタン操作	リモコンLED表示	標準LED表示
音量調整モード受付 (本体ON/OFF時に 設定可能)	 →  ボタン長押し後、2秒以内に ボタン短押し	 ↓ 5回点滅後  1回点灯	
音量UP	 ボタン 押す度に 音量UP	 1回点灯	
音量DOWN	 ボタン 押す度に 感度DOWN	 1回点灯	
音量決定	 + ボタン で決定	 1回点灯	
警報時間選択モード受付 【TYPE 1】 (本体ON/OFF時に 設定可能)	 + ボタン 長押し	 5回点滅	
警報時間選択	 ボタンの どれかを選択	 1回点灯	
警報時間決定	 + ボタン で決定	 1回点灯	

トラブルシューティング1

症状	原因	対策
リモコンの各ボタンを押してもリモコンのLEDが点灯せず、本体も作動しない(各タイプ共通)	リモコンの電池が消耗している リモコンのボタンを押して、すぐに離している	電池を新品に交換して下さい。(CR1220)×2個 各項目で指定されている時間で、ボタン操作をして下さい。
リモコンの各ボタンを押した時、リモコンのLEDは点灯するが、確認音が鳴らず、標準LEDも点滅しない(各タイプ共通)	本体とリモコンの距離が離れている 車両付近に高圧電線又は、放送局等強い電波を発生させる施設がある 各配線やコネクター類が正しく装着されていない 本体ユニットのCPUがロックしている	リモコンの電波到達距離は約5～10mです。車両に近づいてリモコン操作を行って下さい。 強力な電波により、リモコンの電波が妨害される恐れがあります。 説明書の要領に従い、各接続先を確認し、正しく取り付けして下さい。 本体ユニットの常時電源又は、アース線を一度外し、しばらくしてから再度接続して本体をリセットして下さい。(CPUがロックした時点で、すでに設定されている項目はリセットされません。)
	アンテナ線が切断又は、金属部分に接触している リモコンの持ち方が正しくない 登録されていないリモコンで操作している 作動確認音制御機能がOFFになっている	アンテナ線の状態を確認して、説明書の要領に従い、正しく設置して下さい。 説明書の要領に従い、正しく使用して下さい 登録されているリモコンで操作して下さい。又、登録されていない場合は、説明書の要領に従い、登録後使用して下さい。 説明書の要領に従い、作動確認音制御機能をONにして下さい。
リモコンの各ボタンを押した時、確認音は鳴るが、標準LEDが点滅しない(各タイプ共通)	標準LEDの配線やコネクター類が、正しく装着されていない	説明書の要領に従い、各接続先を確認し正しく取り付けして下さい。
リモコンの各ボタンを押した時、標準LEDは点滅するが、確認音や警報音が鳴らない(各タイプ共通)	ハイパースピーカーの配線やコネクター類が正しく装着されていない ハイパースピーカー線を室内に引き込む際、ボディと干渉、ショート又は、断線している 作動確認音制御機能がOFFになっている	説明書の要領に従い、各接続先を確認し正しく取り付けして下さい。 ハイパースピーカー線の状態を確認して下さい。 説明書の要領に従い、作動確認音制御機能をONにして下さい。
警報音量が小さい又は、聞こえにくい(各タイプ共通)	ハイパースピーカーを外から聞こえにくい所に設置している	説明書の要領に従い、スピーカーを正しい場所に取り付けして下さい。
スーパーセンサーの警報音量が小さい又は、聞こえにくい(各タイプ共通)	警報の音量が小さい又は、0になっている	警報時の音量を説明書の要領に従い、車両や駐車場所に応じて、正しく設定し直して下さい。
スーパーセンサーが反応しない(各タイプ共通)	正しく取り付けされていない又は、コネクターが外れている スーパーセンサーの設定した感度が低い又は、0になっている センサーカット機能がONになっている	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。 警報又は、警告時の感度を説明書の要領に従い、車両や駐車場所に応じて、正しく設定し直して下さい。 説明書の要領に従い、センサーカット機能をOFFにして下さい。
スーパーセンサーが過剰に反応する(各タイプ共通)	正しく取り付けされていない スーパーセンサーの設定した感度が高すぎる	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。 警報又は、警告時の感度を説明書の要領に従い、車両や駐車場所に応じて、正しく設定し直して下さい。
人体センサーが反応しない(TYPE 1に標準)	正しく取り付けされていない又は、コネクターが外れている 人体センサーの検出範囲が狭い	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。 人体センサーの取付場所を見直すか、人体センサーを増設して下さい。
人体センサーが過剰に反応する(TYPE 1に標準)	正しく取り付けされていない又は、固定されていない	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。
傾斜センサーが反応しない(TYPE 1に標準 TYPE 2にオプション)	正しく取り付けされていない又は、コネクターが外れている	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。

トラブルシューティング2

症状	原因	対策
傾斜センサー装着時、車両が傾いていないのに反応する(TYPE に標準 TYPE にオプション)	正しく取り付けされていない又は、固定されていない	説明書の要領に従い、正しく設置してあるか確認して下さい。
ドアが開けられても最大音量の警報に切り替わらない(各タイプ共通)	電流センサーの設定した感度が低い又は、0になっている	電流センサーの感度を説明書の要領に従い、車両の状態に応じて正しく設定して下さい。
	電流センサーがOFFになっている	説明書の要領に従い、電流センサーをONにして下さい。
	ドアスイッチ線の極性誤り又は、接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
電流センサーが反応しない(各タイプ共通)	電流センサーの設定した感度が低い又は、0になっている	電流センサーの感度を説明書の要領に従い、車両の状態に応じて正しく設定して下さい。
	電流センサーがOFFになっている	説明書の要領に従い、電流センサーをONにして下さい。
電流センサーが過剰に反応する(各タイプ共通)	電流センサーの設定した感度が高い	電流センサーの感度を説明書の要領に従い、車両の状態に応じて、正しく設定し直して下さい。
	エンジン停止後でも車両側で何らかの電流変化がおきている	この場合、電流センサーの使用はできません。ドアスイッチセンサーを使用して下さい。
	バッテリーの電圧不足又は、比重が低いため電流が安定しない	バッテリーを点検し、劣化している場合は交換して下さい。
ドアスイッチセンサーが反応しない(各タイプ共通 任意配線)	ドアスイッチ線の極性誤り又は、接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
警報時にホーンが鳴らない(TYPE で任意配線)	ホーンに接続されていない	ホーン線に接続して下さい。
	ホーン線が誤って接続されている	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
	外部ホーン出力機能がOFFになっている	説明書の要領に従い、外部ホーン出力をONにして下さい。
本体ユニットON・OFF時又は、警報時にハザードランプが点滅しない(TYPE に標準 TYPE にオプション)	ハザードフラッシュが正しく接続されていない	説明書の要領に従い、各接続先を確認し、正しく取り付けして下さい。
リモコンエンジンスターターでエンジンを始動させた場合又は、ターボタイマー作動中に警報する	リモコンエンジンスターター又は、ターボタイマーの特性	説明書の要領に従い、電流センサーの機能を使用せずドアスイッチ線を接続して下さい。
	イグニッション線の配線誤り又は、接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
各モード設定時、途中でリモコンの操作が効かなくなる(各タイプ共通)	本体ユニットのCPUがロックしている	本体ユニットの常時電源又は、アース線を一度外し、しばらくしてから再度接続して下さい。
	リモコンのボタンを押して、すぐに離れている	説明書の要領に従い、各項目で指定されている時間でボタンの操作をして下さい。
	リモコンのCPUがロックしている	リモコンのどのボタンも触らずに1分間放置して、そのモードを強制終了して下さい。
リモコンの追加ができない(各タイプ共通)	すでに、リモコンが4個登録されている又は、同じコードを追加している	説明書の要領に従い、リモコンのコードを抹消してから追加して下さい。
	イグニッションキーの操作が早すぎる又は、遅すぎる	説明書の要領に従い、イグニッションキーの操作を行って下さい。
	イグニッション線の配線誤り又は、接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
リモコンの抹消ができない(各タイプ共通)	イグニッションキーの操作が早すぎる又は、遅すぎる	説明書の要領に従い、イグニッションキーの操作を行って下さい。
	イグニッション線の配線誤り又は、接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。
ERS機能が動かない(エンジン始動中にドアが開けられても警報しない)	ドアスイッチ線が接続されていない	説明書の要領に従い、正しく配線してあるか確認して下さい。

上記以外の症状が発生した場合は、お手数ですが「サービスセンター」にてご相談下さい。
受付:月～金 午前9時～午後6時(土日祝祭日・年末年始等は受け付けておりません。)

〒669-4132 兵庫県氷上郡春日町野村537
フジ電機工業株式会社 サービスセンター

TEL . 0795-74-2177
FAX . 0795-74-2187

アフターサービスについて

保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入事項をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。付属の保証書カードは必ずご返送して下さい。

保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にお申し付け下さい。保証書の記載内容により、無償修理いたします。

保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される時は、下記の事項を確認し販売店又は、サービスセンター「お客様相談窓口」にご相談下さい。

商品名、品番、製造番号
故障の内容(どのような症状なのか、いつ頃からか等出来るだけ詳しくお知らせ下さい。)
お買い上げ年月日及び、販売店名
お客様のお名前、ご住所、連絡先等

アフターサービスについてご不明な点

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又は、サービスセンター「お客様相談窓口」にご相談下さい。

本機は高性能な盗難予防機であり、盗難防止機ではありません。万が一盗難事故に遭われましても当社は一切の責任を負いません。又、故障・誤動作により警報機が使用できなかったことによる付随的損害(代品貸し出し等も含む)の保証につきましても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

無償保証規定

本製品は高度の品質管理を行っておりますが、保証期間中に取扱説明書等の注意に従った使用状態で、万が一、故障した場合には保証規定に従い、無償にて交換又は、修理させていただきますので、販売店又は、サービスセンター「お客様相談窓口」まで保証書を添えて、お申し出下さい。

保証書のない場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。

保証期間内であっても次のような場合には有償になります。

保証書の提示がない場合又は、保証記載内容に不備のある場合。

商品取り扱い上の誤り、不注意による故障及び、損傷。

不当な修理及び、改造による故障又は、損傷。

事故による故障及び、損傷

消耗品の交換(電池及び、付属部品等)

保証書にお買い上げ年月日、販売店名等の所定の記入事項のない場合又は、文字を書き換えられた場合。

故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。

保証規定は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

ご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店又は、サービスセンター「お客様相談窓口」にお問い合わせ下さい。